新真婦人

第七号（十一月号）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電本）八八八八（病院用）
（　八九八八（自宅用）

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

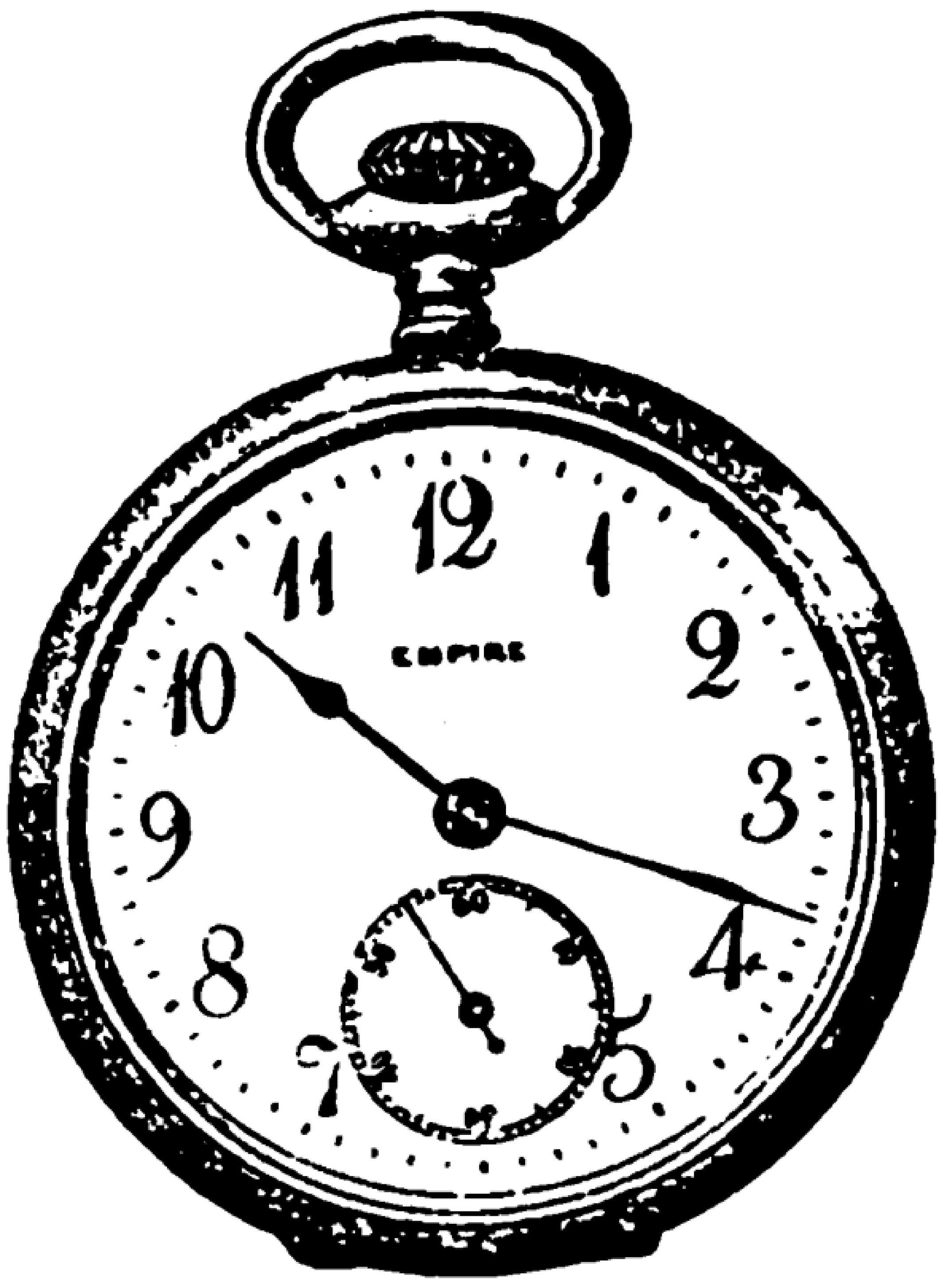
院長　醫學士高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需



營業品概要

精工舍製懷中時計
歐米製各種時計類
雙眼鏡及各種眼鏡
測量用諸器械一式
製圖器度器及附屬
氣象用航海用器械
プラチナ地金及製品
ダイヤモンド及諸寶石
貴金屬製諸美術品
寶石入各種裝身具

東京銀座四丁目

服部時計店

電話京橋（一三〇〇 一三〇一 長一三〇二）

振替貯金口座東京二一九八〇番

營業一覽御申越次第郵送可致候

治療界の大福音!!

オキシパサー

一名（健康器）

定價金七拾五圓也

オキシパサー之圖

本器は細胞の活力を高め全身の新陳代謝を増進する特殊作用を有するに依り總ての疾病に驚くべき奇効ある理學的發明品なり其奏効の確實なるは本器を熱心に使用せられし諸大醫並に購買者諸彦の實證を經たり

特色

効力……永久に有効なり……

感覺……皆無更に惡感を與へず……

使用法……簡易何人にも自由なり……

經濟……使用上失費を要せず……

説明書　御申越次第送呈

日本オキシパサー商會

東京市麹町區有樂町一丁目三番地

電話本局三二三一番

▲十一月九日正午より

▲神田橋畔和强樂堂にて

新眞婦人社講演會

二三既に御出演の御承諾を得た先生もありますが、尙ほ御依賴中や演題の分らぬ方がありますから、辯士及び演題の發表は追て新聞及びチラシを以てすることに致します。當日は成るべく御婦人方の御來會を希望します。男子の方の御來會も拒みませぬが、成るべく御婦人御同道を希望します。

■新眞人社小集

十一月第三火曜、午後一時より芝公園地十四の十四　高橋里子氏方にて開會、來會は會員及び會員と御同伴の御婦人に限ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人第七號目次

口繪　オフエリア（ミレー筆）

日誌の利用　記者

婦人と實生活　西川文子

善き家庭よりも不良少年の出るわけ　子

秋二十五首　座古愛子

生活狀態の變遷と女性　高島平三郎

勤儉力行の西洋婦人　吉野作造

眞の江戸ッ子の家庭　吉田清太郎

カシタンカ（飼犬の名）　瀬沼夏葉

母の情　吉川たみ子

一口ばなし「國民性の差」　あぐり

男の罪　吉岡彌生

女人國記（一）　新眞婦人社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短歌　柏女
小供の恩人　一記者
婦人寄生論（第三章）　オリブ・シユライネル女史著
高野重三譯
田中正造翁の最後と夫人　木下尚江
○○○兄に　座古愛子
離婚せる友に與ふ　小口みち子
結婚の沿革　高橋逵子
產褥　ふみ
二日の記　みち子
新刊紹介（新道德――婦人の修養――戀の眞理）
募集文藝（俳句――短歌）

十一月一日發行

新しき婦人とドライ炭

新製品ドライ炭は、最も時勢に適した大徳用の木炭代用品である事を確めましたので、一日も早く、皆様におすすめしたい考で、エッケイー商會は、専門にドライ炭の發賣を致します、是非一度は御試し願ひます。

ドライ炭問屋

神田鎌倉河岸

エッケー商會

電本一六三八番

家庭經濟と國家の運命

銀座一丁目河岸通（電話京橋八一五 八一六）

帝國貯蓄銀行

飯倉支店　飯倉三丁目
赤坂支店　赤坂表町
四谷支店　四谷大通り
本郷支店　本郷一丁目角
神樂坂支店　牛込神樂坂上
吾妻橋支店　淺草花川戸
須田町支店　神田須田町
米澤町支店　兩國米澤町
品川支店　南品川一丁目
横濱支店　横濱吉田町
代理店日本橋坂本町田中銀行

◎一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候◎毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

定期預金　六ヶ月以上　六分

當座預金　百圓ニ付日歩　九厘

特別當座預金　百圓ニ付日歩　壹錢貳厘

東京市日本橋區坂本町七番地

合資會社 田中銀行

電話浪花（壹九九番
　　　　 貳四〇番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オフエリア

顔もかくさず柩車に載せてヘイ、ノン、ノンネ――ヘイ、
ノンネ――墓にや涙の雨が降る……（オフエリアの歌）

（ミレー筆）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斜に生ふる青柳が白い葉裏をば河水の鏡に映す岸近う、ひな菊、いらくさ毛莨……褻なる農夫は汚はしい名で呼べど清浄な處女らは死人の指と呼うでゐる……芝蘭の花でこしらへた花かづらをば手に持つて狂ひあこがれつゝおじやつたげなが、それを掛けうとて柳の枝に攀づれば枝のつれなうも折れて其身は花もろともにひろがる裳裾にさゝへられしばしは漂ふ水の面、最後の苦痛をも知らぬげに、人魚とやらか水鳥か、歌ふ小唄の幾くさり、そのうちに水が浸み、衣も重り身も重つて歌聲もろとも沈みやつたといの。

ハムレツト、中　王妃のせりふ。

坪内博士譯による。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

應招案内

御家庭に於ける御一族の御集會、御宴席の餘興、工場慰安會其他各種講演會等に利用せらるゝ娯樂機關は其の趣味と實益とを兼備し且通俗教育普及上簡易にして適切なるの點に於て活動寫眞の右に出づるもの無之と奉存候弊社は今般業務刷新の一端として左の如き便法の下に最も清新優良なる内外の寫眞を撰拔して大方の御招聘に應じ可申候間何卒續々御用命あらんことを希上候

特種	壹夜映寫料	金貳拾五圓以上
甲種	同	金貳拾圓
乙種	同	金拾五圓

但三日間以上連續御招聘の場合は特に割引の御相談可申上候

注意

一、寫眞數　喜劇、悲劇、風俗、滑稽、奇術、歴史、地理、軍事、衛生、宗教等拾二種（全長八千呎内外、一夜三時間映寫し得）
但し御開會の二三日前寫眞目錄に簡單なる筋書を添へ御送り可申上候

二、出張員　辯士壹名、技師壹名（若くは貳名）荷物運搬夫壹名

三、藥品　電氣の御設備なき場所は弊社より酸素瓦斯發生器壹式携帶可仕之れに要する各種藥品は弊社にて負擔可仕候又電氣は百ボールド三十アンペア（直流、交流何れにても宜敷候）を要し申候此の場合はカーボンを弊社より携帶仕候

四、運搬費　器械其他附屬品の運搬費は市内は全部弊社にて負擔仕候得共市外は實費を申受候

東京市日本橋區檜物町廿六番地

日本活動寫眞株式會社營業部

電話本局 特長 三四九二、四六五一　四六五〇、三五四四　二八七九、五二一四

販賣貸附係專用 五二一五、

理學博士 鶴田賢次先生御證明

不思議のちゝ瓶

健兒ヲ發育セント欲スル方ハ
此ノ保溫哺乳器ヲ御用ヒアレ

定價一具 金壹圓八拾錢

送料
內地 拾五錢
臺樺 貳拾五錢
滿韓 參拾五錢

發賣元

東京市淺草區南元町廿五番地

在原留三郎

電話下谷七百拾六番 振替東京四一六〇番

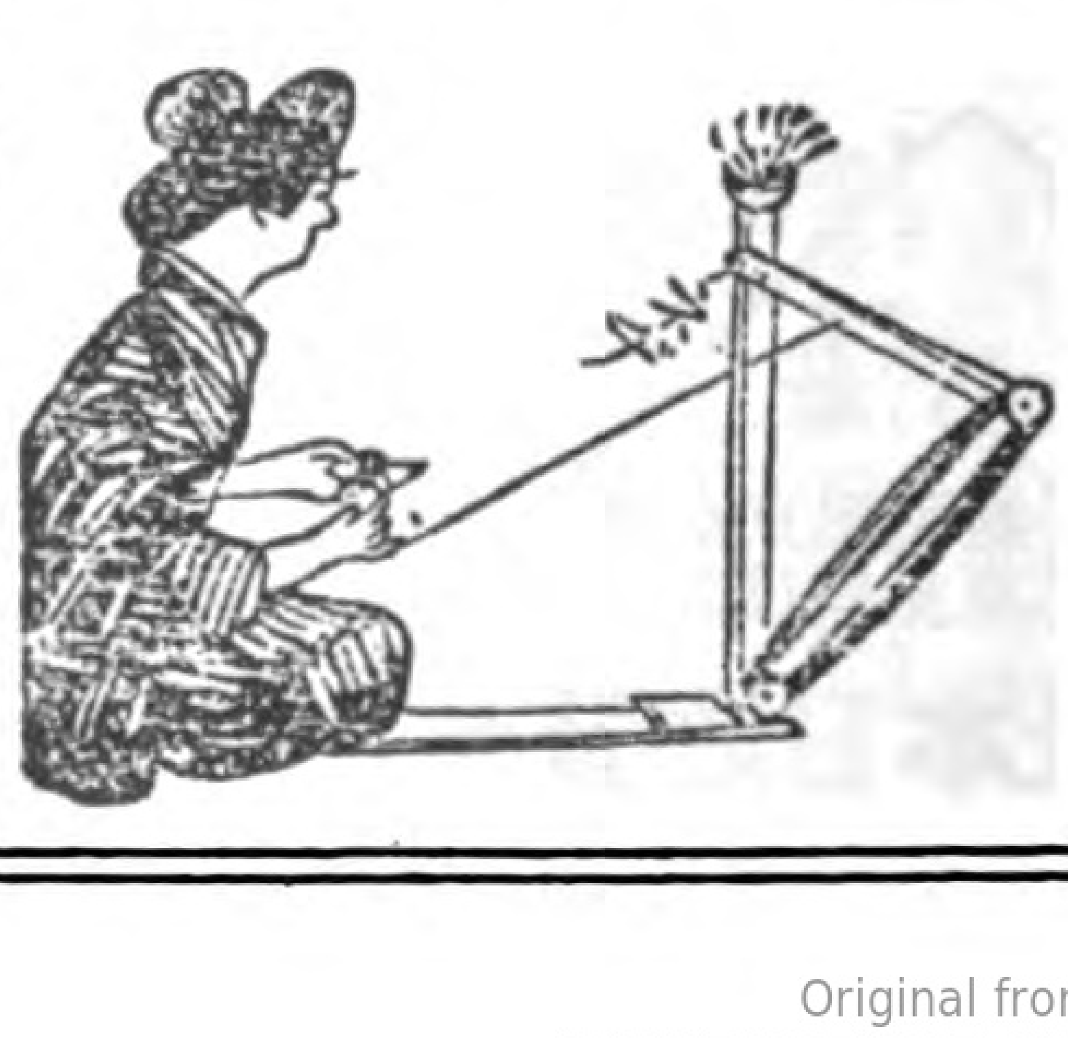
◎御婦人方の新福音

特許 竹中式

絲掛附絎臺

使用法

右絲掛附絎臺は下圖の如く下部にある二個の糸掛車を糸の輪の長短に依りて「ネジ」鋲を以て自由に「シメ」糸口を中央にある輪に通して糸巻に巻く時は二個の糸掛車は自由に廻轉して他人のお手を煩はさず糸の亂れるが如き心配なく單獨にて容易に糸巻に巻くことを得て輕便此上もありません是非御使用を願ひます



定價

本朱塗製	金七拾錢（美麗箱入）
御誂黑塗製	金六拾錢（同）
特製	金參拾錢（同）
上製	金貳拾五錢（同）
並製	金貳拾錢（同）

○市內は壹本にても御一報次第無料配達可仕地方は金拾貳錢申受候

製造發賣元 東京市青山 竹中商店

電話芝二千八百八十四番
振替口座東京三二二三番

◉特約販賣お望の方は至急御來談あれ

婦人必讀の良書

産科専攻 醫學士 伊庭秀榮先生新著

安産の栞

△定價九十錢
△郵稅八錢

出でたり、姙娠の前後より産前産後の心得等懇說せる良著出版匆匆好評嘖々

中央評して曰く、姙娠は婦人の大事なり然も分娩には一種の恐怖伴ひて却て之がため精神を刺戟し平常産なるものを態々異常たらしむることあり、**著者**は婦人科産科の専攻として夙に盛名を博せるの人、本書の著述に際しても讀者をして恐怖心を懐かしめざるを主眼とせしと、先づその着眼點に充分の用意あるを見る。**内容**も此種の出版物甚だ夥多なるに比し理論よりは先づ如何なる家庭に於ても實行し實驗して其効果を收むるやう記述したり。之のみにても斯かる出版としては確に一頭地を抜けるものと言べく叙述明快にして平易秩序整然たり。姙娠せる婦人等へ贈物に極めて適當也。體裁亦清楚を極む。

内容一班

△月經時の注意
△婦人の天職
△姙娠の原理
△胎兒の發育
△男兒と女兒
△姙娠と分娩期の鑑定
△姙婦の病氣
△流産と早産
△分娩時及産褥時の心得
△姙娠中の衣食住
△生兒の發育と養生法

文學士 下田次郎先生著

胎教

價五十五錢
郵稅六錢

好評無類参版成る

生兒の賢愚強弱は胎兒の敎育、姙婦の心懸に起因す。本書の價値已に定評あり

發行所
東京京橋南紺屋町十二
振替口座東京三六二番
實業之日本社出版部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

燈火の中の顔

新眞婦人 第七號

日誌の利用

或婦人は其子が遠方の學校へ行く時に、之れからは毎日〳〵、朝起きてから夜寝るまでにしたことを大小となく日誌につけて、宅へ送る樣にと言ひ付けた。而して息子が日誌を送て來ると晩餐後家族一同揃てる所で、弟か妹かに高らかに之れを讀み上げさした。遠方の息子は自分の日誌が家族一同の前で讀み上げらるゝのであると聞いては、トテも恥かしいことは出來ない。斯くて彼は修學中有らゆる誘惑に打ち克つことが出來た。其後此の息子の父たる人も、遠方へ旅行する樣な場合には、日誌をつけて宅へ送ることにした、此の日誌が家族一同の前で讀み上げらるゝのであるとあつては『旅の恥はかきすて』などと云ふ氣にはトテもなれぬ。斯くて此の父たる人も旅行中何時も有らゆる誘惑に克つたと云ふことである。右は金森通倫先生の講演中の一節であるが、私共も家庭で斯く日誌を利用したいものであると思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人と實生活

西川文子

私は先日下田次郎先生を御訪問致しまして、かう云ふ事を承りました、丁度私も常に感じて居た事で御座いますから、御紹介致します。

世の中がだん〳〵文明になつて行くが、眞の文明は思想界に關した事である、所が現今の婦人は一般に眞の文明の恩惠を受けて居ない、只下級な皮相的文明である所の、電車、瓦斯、電氣、水道と云つた樣な物質的文明の恩惠にしか浴して居らぬ、何も文明は男子の專有すべき性質のものでないから、モット〳〵婦人も思想上に趣味を持つ樣に精神的生活をする樣にならねばならぬ。

又婦人問題を云々する人は兎角感情的になり易い、同情を持つ人々はあまり肩を持ち過ぎ、反對をする人は何でも彼でも反對する、つまり公平な研究を缺くに至り易いものだから、つとめて學術的にする必要がある。西洋の名著の講演を聽くとか、科學的方面からさま〴〵の知識を得る事は至極必要な結構な事である』と申されました。如何にも其の通りであります。

學校を出てからは

男子でも學生時代には勉强するが、社會へ出てからは職業が忙がしくて勉强どころではないと云ふ人が多い、それでも男子は社會に立つて居る丈に、耳學問でもする機會がある。所が婦人は一旦家庭の人となると自らも捨てゝ了ひ、人も『どうして家持ちになつてはソンな暇はない、讀書をするよりは、ソンな暇に何かした方がよい』と申します。さうして居る中に次第次第に知識的趣味がなくなり、夫の話はもとより子供の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

話でさへ分らなくなります。で私は家庭の御婦人方に讀書を奬勵し、又講演を聞くことなどを御すゝめしたいと存じます。

讀書と講演の中、

講演會の活用

に就て少しく述べましよう私は講演會を左の様に活用して役に立てゝ欲しいと存じます。

今月の『雄辯』と云ふ雜誌に『米國に於ける通俗教育』と云ふ題で久留島武彦氏がかう云ふ事をかいて居られる。

「何でもセキスピヤの繼續講演の時であつたと思ひます。その三四回であつたと記憶致してをりまするが、私の腰掛けてをる眞前に必ず極まつて席を占める一人の老媼があつた。その容貌並にその服裝に依つて餘り富んで居ない、まづ伊太利移民の老媼であると云ふ事は察せられたが、私は「かう云ふ老媼がセキスピヤなどを聽いて分るのか知ら」と疑つた。その第四回目でありましたか、講演の終つて皆歸ろうとする時、講師はつか〳〵と講壇を降つて來て老媼に、「貴女はセキスピヤに興味を御持ちですか」と尋ねた。その突然の質問に對して老媼は躊躇する處なく

「分りませぬ」

と率直に答へた。その意外なる返答を聞いて講師は更に

「それでは此の講演が貴女にどう云ふ御滿足をおさせ申しましたか」

と問ふた、その時、例の老媼は少しも臆する處なく、次のやうに答へたのであつた。實は私の娘が高等女學校に入つてをるので御座いまする。處が學校から歸つて晩餐の席に着きますれば、必ず其の日の出來事をお互に話し會ふので御座いまするが、近頃はセキスピヤの脚本とかをやつてをるとか申しまして、頻りに其の話が出ますけれども、私には少しも分りませぬ。併し私も娘の申す事位は分りたいと考へまするし、又娘の尋ねる位の事は答へてやるのが親の義務だとも思ひまするが、私には其セキスピヤと云ふものが分りませぬ。それだからと申して今更私がそれを讀むと云ふ事も出來ませず困つて居りまする處に、こちらで講演があると聞きまして參る事に致しました。

「これを聽いてをりますれば、娘の話した事が腑に落ちまするし、又成程ロメオとジュリエットの戀仲は氣の毒なもの、ハムレットの心地はさこそあつたらうとも思はれます……お陰様で其の後は晩餐の食卓も賑かに、樂しく話し交す事が出來るやうになりました。それで私は貴君の講演を非常に面白く、有益に聽いてをるやうなわけで御座りまする」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

この偽りなき老媼の返答を得て、講師は喜ばしさうに、今しもどやどやと散りかけてなる聽衆を呼止めて

「こゝだ！　こゝが通俗講演の必要なる處であつて斯く活用されてこそ話し甲斐もあれば、諸君の集まつた効果もあると云ふべきである。

私は講演會と云ふものを此老媼の樣に、活して役に立てゝ欲しいと思ひます。

さて私共が諸先生に御願ひして、此の講演會を開きましたのは、第一には私共が右の老媼の樣に活用したい爲めで、第二には家庭の事情や、自己の準備、身の上の都合で今更、大學にも入れないし、自身に讀むのも大變だと云ふ方々に此の講演を活用して貰いたいと思てゞあります。

米國などでは通俗講演會の聽衆の多くは三十四五から四十位の婦人であると云ふ事であります、私は日本で今日の樣な講演會にさうした年輩の御婦人の多く來て下さる事を切に希望致します。

開會の趣意は右を以て終りと致しますが、序手に『婦人と實生活』に就て、此の頃の所感の一二を申したいと存じます。

婦人と實生活

○

世の夫たる人は、うちの家内などに何が出來るものか、えゝこの人は何も解りません、と申されます、又密にはうちのもマンざらではないと思ふ夫も妻に何かさせると云ふ事を男の意氣地のない事かの樣に耻に思ふ傾向があります、夫人が何かすると云つても必ず外の事に限るワケでないから、商人、勞働者、大家族で家庭内に仕事の多くある人はそれでよいが、世には夫婦二人切りで、夫は勤務して終日留守であるのに、妻君は爲す事もなく晝寢でもして居る家庭がまゝあります又夫の業務は非常に繁忙で殆んど神經衰弱に成るまで著述をしたり、内職をしたりして居る家庭でも、妻君の内職などするのは耻辱として遊ばしてある。一般に男子は如何に高位高官の人と雖も生活の爲めに苦心慘澹たるものがあるのに、婦人は働くのを耻辱として居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る位であります。

例令生活費を得る必要のない境遇の婦人と雖も、時間の餘裕と經濟の餘りある婦人は社會の爲め盡さねばならぬ事が山ほどあるのであります。例へば井戸、下水の掃除、道普請に就ての建言、病院の見舞、少年の感化、學校と家庭の連絡なども婦人の手をまたなければ充分に出來ない事であります。

前に述べた如く順境にある婦人でも、何か志を立てて家事の暇に從事する事は必要であるが、世には逆境の場合があります、零落するとか、夫が失業した場合とかにも、夫人の業務は家庭にありと云ふ事に囚はれて、妻子を里方へ預づけて、夫は一人下宿して生活の道を求めやうとせらるゝ方がまゝあるが、これは誤れる思想だと思ひます、何も妻君が苦しい居候をしてまで遊んで居なくとも、子供丈けは一時預けておいても妻君も共に就職の道を取るがよいと思ふ、男は常に表面に立つて居た丈、これ迄の地位名譽に對して、何でもすると云ふわけに行かぬ場合にも裏面に居た婦人は行商、事務員、會社員にでもなれると云ふ好都合な事さへあるのですから。

○

世には職業婦人を惡く云ふ感情があつて、婦人の天職は家庭にありとか、ソレでは子供の世話が行屆かぬとか云ふ事をよく聞くことであるが、子供にかゝり切りで遊んで居る母親より、寧ろ勤勉と云ふことを見せる方がよい感化を子供に與へるかも知れぬ。家庭にあるべき筈の婦人もさうばかり行かない場合がある、男子でも平和を望むからとて戰爭の時には人殺も止むをえぬのと同樣である。ソレから又家庭と社會の間にはそんなにはつきりと區畫の付くものではない、相關連して居るものである、社會が腐敗して居る爲めに良家の子女を墮落せしむるのも、道路の惡い爲めに家庭の人の出入を不便ならしむるのも社會と家庭と連絡して居る實例である。

つまりつゝめて云へば、婦人の仕事は家庭にありと云ふのが理想であるとしても、(一)家庭内にそれ丈け

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の仕事のない場合、(二)そうしては居られぬ經濟狀態にある家庭、(三)結婚出來ぬ場合がある、此種の婦人は無論家庭外に仕事を求めるのが至當で、猶、一層積極的に云へば、母であり、妻であり可成り家庭の仕事の多くある婦人と雖も、何かそれ以上に獨立せる自己を考へて、自己發展の爲めに相當なる仕事を心懸けて居るべきである。いつも云ふ事でありますが、縱ひ私共にはストー夫人やブース夫人の如き、天才は無いにしても心懸け一つでは其人としては充分の處まで、發達する事が出來るのであります。

從來、親に從へ、夫に從へ、子に從へとのみ敎へた敎育が婦人の依賴心を極度に增長させて、婦人を獨立の一個人としては立てなくして了ふて居たのです。これが婦人の位置の高まらない大なる原因であると存じます。かう云ふとすぐ西洋思想にかぶれて居ると云ふ人があるが、實際、これまでの婦人はうか〳〵として空虛な生活を營んで來たのである、その證據には夫の不品行なる場合にも自己と云ふ立場を突きとめて考へない、自分はどうでもよいけれど、人樣がどうの、世間體がどうのと言ふ事をよく夫人の口から聞くのである。なぜ自己の特權を侵害された事を明白に云へないのでしやう、自分がよければ世間の手前位はさう大した事ではない筈ではありませんか。

○

一般婦人は斯樣に獨立の精神を缺いで居るが、ソレよりも悲しむべきは、今日尙ほ立派な敎育を受けて新思想あり、卓見ある御婦人方までが理由なき遠慮、習慣に縛られて居ることであります。例へば講演會を開くにしましても男子の方は隨分御多忙でも、何んとか御都合して出て下さいますが、御婦人はどうも出て下さらぬ、立派な學問と識見とがありましても、兎角病院とか、學校とか、御自分の關係して居る一ケ所へ閉ち込んで了つて、一般公衆を相手の講演會などへ出ることを、御遠慮なさる類があります。私はコウ云ふ御遠慮は一日も早く棄て了つて、其の業務の餘力を以て、一般婦人を敎育するの任務に當られんことを熱望します、今日一般婦人の有樣を見ては默止しては居れぬぢやありませんか。(十月十八日南明倶樂部に於ての講演筆記)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

善き家庭より不良少年の出るわけ

露子

一

孤兒の中より、不和な家庭より、若しくば片親しかなき家庭より、不良少年が多く出て居るのは、人の皆知る所で、其の理由は說明を要せずして明かである。けれども、兩親が揃うて居て、而かも其の兩親が何れも善良申分なき人である場合にも、其の家庭から不良少年が出る場合がある、斯かる場合には誰れでも一寸其の理由を發見するに苦しむ、之れは一體ドウ云ふワケであらうか。

二

此の間も或英書を讀みしに、左の樣なことが書いてあつた。

或日曜日に、オレゴン夫婦は、生れて間もなき其の赤ン坊を敎會へ連れて行つて牧師に洗禮を施して貰つた。而して此の赤ン坊が口をきゝ出すと、夫婦は何によりも先きに祈禱の文句を暗記さすことに努めた、ソレから又、モウ少し赤坊が生長すると、早速日曜學校へ通はせた。

信仰篤き兩親が、斯程まで、而かも生れると直ぐから注意して育てたにも係はらず、此の子は、其の十二歲の時より、何所で覺へてか煙草を吸ひ始め、ソレを手始めとしてダン〳〵惡い癖が、一つ二つと付き始め、遂には酒も飲めば、賭博もやる、惡所へも遊びに行く樣になつて了つた。

やがて兩親は此の事を感知して驚き、ドウか一度現場を押へて意見したいと思ひ、或夜父は、我が子やあると、酒場、料理屋などを覗き廻はつた、所が或サーロンで息子が醉ひ潰れて居つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何にを云ふても正體がないので、父は連れ歸つて、兎も角も寢させた。而して彼は其の妻と共に、息子の枕頭に立ちて、今の有樣と、机の上に置いてある此の子の無邪氣な小供の時代の寫眞とを見比べて、四つの眼に涙を浮べた云々。

之れと同じ樣な話が、日本にもイクラもある、之れは一體ドウしたワケのものであらうか。

三

其の理由は、要するに、

父母が立派な宗敎家であること、若しくば修養ある立派な品性の人であると云ふことは、之れを永き遺傳の歷史の上より見れば、最近の至極短かい經驗であつて、從て之れが其の子に及ぶ力は極めて弱いのである。されば如何に善良なる家庭の子弟にも、一歩を過れば、不良少年に墮落するの恐れがあるのである、人間の性質の原始的要素とも云ふべき、動物的本能、开は永久的性質のものである上に永い遺傳の力があるのであるから、父母が善良なれば、子供が必らず善良なる人間になるに違いないとは云へぬと云ふにあるのです。

各個人の發達は、略ぼ人類進步の階段を踏みて行くものであるらしい。卽ち、動物から、野蠻人に進化し、野蠻人から半開化人となり、遂に半開化より文明人となると云ふ順序を踏みて、各個人も發達するものであるらしい。而して十二歲より二十四歲に至る間と云ふものは、先づ野蠻人に相當する時代であつて、少年は此の時代の初めに、先づ嬌飾ることを覺える、次に社會と云ふ樣なことを考へ出す、次に性慾も動いて來る、更に又、事物を批評的に見る樣にもなつて來る。されば此の時代はドンナ人の子に取りても、危險時代である。實に靑春の危機とは此の時代のことなのである。餘程注意しないと、ドンナ善い少年でも、此の時代には、墮落するの恐れがある。

四

であるから、此の時代の年頃の少年の父母たる人々は、小供が近頃學校のことに興味を持て居るか、否か、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

若し又學校にはモウ通つて居らぬとせば、其の就事せる仕事に興味を持て居るか、否かを、非常に注意して居らねばならぬ。學校か、仕事かに興味を持てる間は大丈夫である。若し學校にでも、仕事にでも興味を持たなくなりかけたらば、それこそ危險であるから、甚だしくならぬ中に、警告を與へねばならぬ。

次には、小供が惡い所へ行て遊ぶのよりは、內で遊ぶのは結構なことであるから、小供の友人は成るべく之れを歡迎して、我家で遊ばせる樣にせねばならぬ。事情が若し許さば、小供にも自分の室と云ふものを與へて置くとよい、小供室があると小供は友達を連れて來て父母に遠慮なく遊ぶことが出來る。

次には、數十家組合て、別に一軒の家を借り、之れを『小供の家』と致して、ソコで小供を健全に、愉快に遊ばせると、ソレがドレ丈け、小供の爲めになるか知れぬ。

更に又、少年の禁酒、禁煙に就ての法律を拵へて、少年に惡に染むの機會なからしむるとが必要である。少年に精神敎育を施すことが無論必要であるが、右に述べた樣な外部よりの注意も怠てはならぬ。之れを怠つたが爲め、幾人有爲な少年が身を過つたか知れぬ。

善良なる家庭よりも、時に不良少年の出づるあるは、先づ略ぼ右の如き理由によりてゞある。

秋五首

座古愛子

○白みゆく空に殘んの月淡くこゝろも澄みて祈ろこの頃

○秋雨の雲はや散りて無花果のえだもたわゝに瑠璃色の玉

○長き夜を人靜まりてしめやかにあまつ御親と語ろ心は

○いたつきの身にも嬉しや長き夜を書よみ聞かせ給ふ友あり

○こほろぎの夜毎に細りゆく聲に浮世のゆめも覺めて祈りぬ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生活狀態の變遷と女性

高島平三郎

一

大陸では、女は勞働しなくても差支は起らぬが、島國ではソウは行かぬ。何せと云ふに、島國では、男が漁に出て二日も三日も歸れぬことがあり、又不漁で困る場合もある、で女は斯かる時の準備として、農業なり何になりせねばならぬからである。瀬戸內海の島々の女は實によく勞働する。琉球の女も實によく勞働して居る、九州の女がよく働くのは、九州人の多くは南洋の島々から來たもので、ソコに島國風があるからである。

九州の中でも、鹿兒島の女はよく働く、中流上流の奧樣方でも決してボンヤリはして居らぬ。ドンナ客があつても、料理屋から料理を取り寄せたりはせぬ、皆な自分の手で拵へる。平常から能く勞働するから、自然其の智識も其の意志力も發達して居る、ソコで不幸にして夫に先き立たれる樣な場合があつても、小供を立派に、夫の居りし時よりも反て立派に育てる程の氣力がある。故高崎正風男の父は、男が十四歲の時に、切腹したが、其の母が偉大な婦人であつた爲めに、男はアレ程の人物になり得たのであつた。大西鄕の母にしても、東鄕大將の母にしても、勞働を厭はぬ、意志の强固な婦人であつたソウな、其の感化が知らず識らず小供に及びて、其の子を大人物にしたものである。

よく働く鹿兒島の女は、エライ小供を生ばかしでなく、一體に其の容貌が秀麗である。而して腰の曲つたものは、殆んど見ることが出來ぬ。

九州の東南部の婦人は、一體によく働くが、北部の方の婦人には、中國的な所があつて、面目を異にして

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

居る。

二

元來、島國の婦人が能く働くと云ふのは、島國に於ける生活狀態が、主として然からしむるのである。されば島國でなくても、其の地方の生活狀態が島國的であれば、其の地方の婦人は、よく勞働するに至るものである。私は先年、丹後の間人と云ふ所へ行つたことがあつた、間人は日本海に面せる地方であるが、此所の壯年男子は悉く遠洋漁業に出かけて、三ヶ月も四ヶ月も、乃至は半年も歸らぬものがある。で此の間主婦なるものは赤ン坊と老人とを保護しながら、一切のことをやらねばならぬ、ソコで自然女の智識が進んで居て、口のきゝ方も甘いが、男は漁にばかり行て居るから漁の外の事は何んにも知らず、口もロク〳〵きけぬ間人に於ける凡ての機關は實に若い主婦たる婦人によりて、動かされて居るのである。

信州の上田在に、蠶紙製造で有名な村がある。此の村から全國へは勿論、西洋へまでも多くの蠶紙が供給されて居るのである。斯かる村であるから、此の村の男子と云ふものは殆んど凡て年が年中、蠶紙を賣りに各地へ旅行して、村に居るのは女子のみである、されば女が無學では、商賣上の祕密を書いた手紙をよこすことが出來ない、他人に讀んで貰ふ樣なことでは、洩れる恐れがあると云ふので、女子に敎育を施すに至つた。此の村が今日女子敎育の日本全國で一番盛んな所となつて居るのは、此の村の生活狀態より來たる自然の必要が然らしめたものである。

今日の女には自己決定力が乏しい、殆んど無いものさへある、けれども之れも何にも永遠のものではない生活狀態が變れば、女もダン〳〵此の力を養はねばならぬことになり、ソウなれば又養へるに相違ない。之れを永遠のものであるかなんぞの樣に云ふのは、近眼者流である。

三

琉球の民族がソレ程退化せぬのは全く婦人の力である。琉球の男子は、熱帶の人々の强い刺激を要するこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と切りなる所から、無闇に燒酎を飲む、然かるに奇妙なことには、女は一滴も酒を飲まない、又男子は多くは芭蕉布の衣服を着て、バナ、の木蔭で、彼の長い煙管で、スッパ〳〵やりながら遊んで居るのに、女は家内ですら百二三十度の暑さの日、戸外で而かも跣足で平氣で勞働して居る。

琉球人で、東京の大學を卒業したものあり、女子大學へ來て居るものあり、又其の地に高等女學校を建てると入學者多くて、其の盛んなること信州、福岡などにも劣らぬのは、全く婦人が酒を飲まず、又よく勞働するからである。若し婦人も男子と同樣に酒を飲むに至らば、又勞働を厭ふに至らば、琉球の民族は忽ち退化し始めるに違ひない。

今や社會の狀態が變りつゝありて、婦人の奮起を促すこと切りなるに、舊い感情に囚はれて之れを妨げんとし、且つ女の力を認むる能はぬもの丶多いのは、慨はしいことである。

假りに女のすることが、知れたものであるとしても、女が奮起すると云ふことは、男子に非常な刺激を與ふるものである、此の刺激が尊い。若し女が仕事をしようとする場合に、社會が之れを妨げてさゝぬ樣にすれば、社會は先づ女の精神を殺すことになり、次ぎには男子の精神をも殺すに至るものである。死んだ女の精神は男子に刺激を與へぬからである。

要するに男子はコウ、女子はコウと、何でもキメねばならぬと云ふ道理はないのであつて、其の社會に適當な樣に男女が調和すればよいのであるから、頑固なことを云ふには及ばぬ、イヤ及ばぬと云ふのみではない、進んで女の刺激の男子に必要なることを認め、女子の奮起は大に之れを奬勵せねばならぬ。

獅子吼（一）

此の三ケ月おぼろに南亞弗利加の、獅子臥す森の上にやかゝろ、

ぬれ髮のたぼの氷りて高原の、しられあほひの夢をも見しや、

伊太利亞の火をふく山の麓にも、木枯ふくや秋の夕ぐれ、

（小口みち子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

勤儉力行の西洋婦人

吉野作造

歐羅巴の婦人は日本人の思つて居る樣に贅澤ではない。巴里などでは美人を集めていろ〳〵の衣裝をつけさせて見たりして、美術學校か何かの樣に意匠を研究して、流行をつくる。けれどもそれに注意するのは女優、高等淫賣婦のみで、上流の婦人は決して手にもしない、日本の藝妓の流行を上流婦人の眞似る樣なことは決してない、夜會などには純白な服裝に何百萬圓の首飾り腕輪指輪を用ゐると雖も、それは儀式であつて決して贅澤品ではない、色や、模樣の如き日々に變るやうなものには重きを措かぬ。

田舍の百姓で日本ならば、子女を大學や女子大學に入れる位の家庭でも、其の子女は小學丈け終れば百姓になり田甫に行く、深いことは專門家に任せて、自分はやはり百姓で身を立てる、而してそれで滿足して居る。それに比べると日本人の學問好きはチト極端でありはせぬか。

私は獨乙の田舍の郵便局長の二階に宿つて居た事がある、其家は五十萬位の資産家だつたが、衣服は木綿ものと麻のみで、馬や豚の世話を其の小供にさして居た。

彼方では結婚すると婦人の方から一通りの家具を揃へて持つて行く習慣である。であるから、それを買ふことの出來ぬ娘さんは、婚約が成立すると、直ぐ外國の新聞(英國の人なら獨乙、佛國とか佛國の婦人なら獨乙の)新聞に廣告を出して語學の家庭敎師に雇れて行く、自國の田舍などへ家庭敎師になつて行く事もあるそうして貯金をして準備するのである。或日私の宿の親類の娘が嫁入りをする準備が出來たから見に來て呉

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れと云つて來た、ソコで早速電話をかけておいて見に行つた。嫁入道具や衣服やが道具屋か呉服屋ほど並べてあるが衣服と云へば木綿や麻のものばかりで、實用向きのものゝみであつた、テーブル、椅子、夜具寢台なども丈夫なものばかりで家に一杯になるほどあつた之れが皆な娘さんの手で揃へられたのである。本人に御祝を云はうと思つても居ない、夕ぐれになつて、明後日娶入すると云ふ娘さんが、きたない衣服を着泥靴のまゝで田甫から歸つて來られた。それが一般の風習であるから、物價の高い割に餘裕があるのである。

衣服は日本の婦人の樣に澤山簞笥に仕舞込んでおくと云ふ事はない、儀式用と常用と外出用と二通りか三通りもあるのは多い方である。而して何んでもすつかり破れて了ふまで、工夫して、今年の流行の形にはどうすれば直るとか云ふ風に手を入れて用ゐる。破れた處でも只切をあてるのではなく、同じ色の絲で少しも分らぬ樣にかゝるのである。それが上着ばかりでなくどんなシャツの樣な下着でも必ず糸で綴るのである、出來上つて見ると少しも最初の切れと變らぬ、實に上手なものである、靴下などもその通りにして、あまりつゞくつて居るから、下女にどれ位もつかと聞いたら一足の靴下で六年は大丈夫もつと云つた、彼方では靴下を三日はくと足から風引くと云つて二日目〳〵には屹度洗ふ、二日毎に取替へるから、つまり二足の靴下があれば六年間に合ふのである。私も眼が惡いから讀書に倦んだ時に下女に敎はつて靴下をついだ、向へ行く時に五六足貰つて行つたのを替る〳〵ついではいて、まだ同じものが三年位大丈夫はけ相だから、六年もつと云ふのは噓ではない、日本人でそんなに長く同じ靴下を使つたのは私が初めでしやう。

向ふの女は又仕事をよくする。客があつても決して手を休めない、話しながらして居る、客に行く人も手下げかばんに編物位入れて行つてすぐ出してする、公園に散歩に行くにも、小供をつれて乳母車に乗せて行つて自分は仕事を出してして居る。或日私は知人からお茶を飲みに來いと招かれた、遠方をわざ〳〵呼ばれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たのでさへお茶にお煎餅位であつた。常には無論お茶も出さない用談丈けしてサッサと歸る。

食物でも日本の婦人の樣に御用聞きに云ふ樣な事は決してない、大きな下宿屋や旅館でも皆な車を牽かせて主婦が自から市場へ買ひに行く、安くてよいものを買はう〳〵とする、決して掛買をしない、どうせ現金でかうのだから買ひに行つても面倒でないから、御用きゝから買はない。兄弟でも決して互に金を貸し借りせぬ、私の居た家の弟が玉子罐詰などを賣つて居たが、兄は只の一度でも金を拂はずに買つた事はなかつた。凡て物價は高いけれども肉と牛乳は非常に安い。凡て無駄をしない經濟が上手だから貯金が出來る、小學校の教師を一生して居て、小供を二人も三人も大學に入れて教育して居るものが向ふでは珍らしくない。教育費は決して安いわけではない、宗教家で母親の手一つで質素に暮して勉强して居る人で一年千圓以上はゐると云ふ、月百圓はどうしても掛るのである。私の知己の小學教師で日本の國債と日本の地方の公債とを持つて居るから、大丈夫か見て呉れと云ふので、或時一緒に銀行に行つて見ると、數萬圓は確かにあらうと思はるゝ程種々の公債券が銀行に保管してある、これは貴君が貯金したのかと云ふと、父と自分と二代で自分の分は少しであると言ふから、お父さんは、何をしてゐられたかと聞くと、やはり小學教師であつたと云つた。

（獨立基督敎會に於ての講演中の數節記者筆記）

眞の江戸ッ子の家庭

◎ホントの江戸ッ子の家庭は、ソレは〳〵實に嚴格なものである。家族一同、藝者遊びなどせぬは勿論、芝居を見物することさへもせぬとのことである。而して遊びなするものを田舍者が云つて輕蔑して居る。

◎ドレ程財産があつても、娘に飯炊きもさせれば、拭き掃除もさせる。コウして置かねと、不幸にして零落したときに、マゴつかねばならぬと云うて、コウさすのぢやソウです。

◎コウ云ふ家風の嚴格な家では、日本橋の眞只中にばかり住居して居ても、十代二十代と續いて居る。都會人の多くは二代三代しか續かぬのは單に空氣が不潔なからではない、都會生活になれて淫靡になることが其の大原因であるらしい（吉田靜太郎氏談）。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カシタンカ

チエホフ作

第四　不思議な曲藝

少時經つて、見知らぬ人は何か變な品物を持つて入つて來た。門の形に似てゐるやうな、丌の字形のものを。さうして此の粗末な木造の丌の字形の横木に、鈴が附いてゐて、又、拳銃も結ひ附けられてゐた、鈴の振子からも、拳銃の引金からも、雙方とも細繩が結ひ附けられてゐる。で、見知らぬ人は室の眞中に、この丌の字形を立てゝ、長いこと、何か恁う、解いて見たり、結んで見たりしてゐたが、旋て鵞鳥を顧みて言つた。

『イワン・イワノキチ、さあ、お出で！』

鵞鳥は直ぐに主人の側に行つて、何かを待つやうな身構をする。

『さあ』と、見知らぬ人は掛聲をして、又續けて云つた『一番最初から始めやう、先第一にお辭宜をして、それからもう一度、今度は最敬禮だ！　えい、元氣よく！』

イワン・イワノキチは頸を延して四方を向いて點頭いて、さうしてから足を擦つた。

『さうだ、これは偉いぞ……それぢや今度は往生するのだ！』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

秋の紅葉と研を競ふニコ　ニコ菊花號

ニコ〱

▲心の働は靈妙至極(五)……ニコ〱倶樂部會頭　牧野元次郎

▲念寫と透視及研究の範圍……文學博士　福來友吉

▲支那と哲士と馬車と馭者……文學博士　三宅雄次郎

▲美術國の日本に眞の美術がなし……駿河町人　松居松葉

■秋の紅葉館に於ける子供園遊會の光景大附錄……中村不折

■子供審査發表と所感……醫學博士　唐澤光德　醫學士　福田正之　女大學敎授　高島平三郎　家政女學校長　岸邊福雄

■花月女將に與ふ(藝者論)……高島米峰

▲一人の室……在伯林　生田葵

▲黑髮讚美論……兒玉花外

▲日記……長谷川時雨

▲短劇　モンナヴンナとプリンチヴルレと獄裡の抱擁……正富由太郎

■ニコ〱臨時增刊　亞米利加號出たり壯觀無比……一冊二十五錢　郵稅二錢

定價一冊十五錢見本要郵券
金十五錢全世界到る處の書
林にあり一年分一圓五十錢
前納の方は會員とす今入會
好時機

東京新橋　ニコ〱倶樂部
電話新橋貳五貳五番
振替東京壹四九四八番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

太平生命保險株式會社

東京市麹町區内幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 内野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞に國家を憂ふるものは必ず本誌を讀め

大正之日本

第壹卷第六號

◎毎月一回
◎一日發行

◎一部十二錢
◎郵税一錢

◎現代思潮の傾向……森川國南

▲浮田博士を戒む……衆議院議員 小久保喜七

◎對支問題……中野次郎

◎贅澤の日本……法學士 守屋源次郎

▲元老の末路……慶應大學教授 向軍治

◎立憲道德……西川光次郎

◎噫騷擾事件……辯護士 笠原文太郎

▲最高學府に軍備學講座を設けよ……某海軍少將

◎地方青年團の勃興と其任務……稲華漁郎

◎青年と政治……社説

◎爲政者は須らく自己の名利を離るべし……六々山人

▲克己修養談(三)……東亞女學校長 田中舍身

◎豐太閤の銅像を東京市に建設せよ……生田目旭東

◎歌舞音曲談……某子爵

◎勿忘草……西川文子

▲南洋諸島の實狀(三)……海軍少佐 下村忠助

◎巴奈馬共和國富源

◎南洋案內

大日本國防義會

▲薩摩義士錄……岩田德義

◎最近大坂政治界の現狀……在大阪誌友 無冠侯

東京市四谷區坂町八十番地

申込所 大日本青年黨本部

【振替口座東京二五九〇二番】

■菊の花に添へて■

ヂヨン・バンヤン原作
松本雲舟先生譯

全譯 天路歷程

●本月下旬發行●
菊判六百頁
洋裝極美本
□定價壹圓五拾錢
郵稅十二錢

既刊姉妹篇

再板 聖戰
定價壹圓拾錢
郵稅金十二錢

恩寵溢るるの記
定價壹圓
郵稅十二錢

山室軍平先生著

基督教講話

●本月中旬發行●
四六判五百頁
□定價壹圓參拾錢
郵稅十二錢
洋裝箱入

■發兌 東京 京橋 銀座 警醒社書店 振替 東京 五五 三番■

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と云ふと、鵞鳥は直ぐに仰向けさまに轉つて、足を上にあげる。これも美事に遣り退けて、まだ幾つかの小さい藝當も皆それ〳〵に首尾よく遣り退けたが、其時主人は急に頭を抱へて、喫驚した顔をして叫び出した。

『やあ、大變だ！　火事だ、火事だ！　燒ける、燒ける！』

イワン・イワノキチは急いで例のПの字形の所に駈着けたが、矢庭に嘴で細繩を銜へて引くと、鈴はりん〳〵と消魂しく鳴る。

見知らぬ人は非常に滿足で、鵞鳥の頸を撫でゝ稱賛た。

『成功した、成功した、イワン・イワノキチ！　ぢや今度はそれ、よしかお前は、その飾屋なのだ、金や、ダイヤモンドを賣るのだぞ、所がお前の其店に盜賊が來たのを見附けたと思ひなさい、さて、其所だ、其の時にはお前はそれを奈何する意か？』

と、聞くより鵞鳥は今度は別の方の細繩を嘴に銜へたが、ぐいと一引引張るかと思ふと、忽ちに耳も聾ゆるばかりに銃聲が鳴り渡つた。カシタンカには鈴の音が氣に入つたが、猶拳銃の射擊の音には酷く感じて、Пの字形の周圍を繞りながら吠えた。

『小母さん、ちやんとしてゐな！　默つて！』

と、見知らぬ人は叫んだ。

イワン・イワノキチの射擊の曲藝は一時間經つても未だ終らなかつたが、それから見知らぬ人は自分の周圍から繩に附けられた鵞鳥を鞭で追つて、一打叩くと同時に、鵞鳥は心得てひらりと飛上り、Пの字形の上を越える次いで環の中を潛り拔けて立つた、尾を突いて請々をして兩足で手招きしながら。カシタンカはイワン・イワノキチから眼も離さないで、感じ入つて唸りながら、幾度もワン、ワンと云つて、とう〳〵堪えられないで鵞鳥の方

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に駈出した。

見知らぬ人は鵞鳥も疲らし、自分も疲れて、額の汗を拭いた。而して又叫んだ。

『マリヤ、此處へ招んで來な、ハフロニヤ・イワノウナを！』

一分經つてフルウ、、と云ふ聲が聞える……カシタンカは又唸つて此度はぐつと勇ましさうな樣子を構へながら、猶且見知らぬ人の側にじり〳〵と寄つて行つた、戸が開いた。何だか變な老婆が室の中を覗く、何とか言つて、黒い醜い豚を入れた、豚はカシタンカの唸り聲には何の注意を向けもせず、其の五錢銅貨のやうな鼻を上へむけて、さも愉快さうに又フルウ、、と云ふ、見る所、彼には其の主人や、猫や、イワン・イワノヰチなどの傍に來たのが酷く嬉しいかのやうである。彼は猫の處に行つて其鼻先で、そつと猫の腹を突いて、何か話をした又、鵞鳥とも話をした、彼の擧動や、聲や、尾の動きに於て如何にも彼の氣の善いと云ふことが感じられた。で、カシタンカは直ぐに思ひ直した、這麽蛋に對して、いくら唸つたり、吠えたりして見ても、全く無益であると云ふことを。

主人はПの字形を取除けて叫んだ。

『フェオドル・テモフェーキチ、さあお出で！』

すると、猫はやつとこさと云ふやうに立上り、伸をして、億劫らしく、恩にでも着せるやうに豚の傍に行つた。

『さあ、始まり、始まり、今度は埃及のピラミッドで御座い！』

と、主人は言ひ出した。

彼は長いこと何事か説明をしてゐたが、旋て號令を掛ける。一……二……三！　イワン・イワノヰチは『三！』と云ふ聲を聞くより、翼を擴げて豚の背に飛上つた、さうして翼と頸とで左右に揖を取りながら、その荒い硬い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

毛の豚の背中の上に身を構へる。フェオドル・テモフェーキチはぐた〳〵して物臭さうに、さも輕蔑してゐるやうな風態で、這麼自分の藝には何の價値も置かんと云ふ輕蔑し切つた樣子で豚の背中へこれも飛上つた、さうして又更に鵞鳥の背中に飛び乘つて後足ですつと立つた。それでとう〳〵この見知らぬ人の云ふところの埃及のピラミッド形が出來上つたのである。カシタンカは餘りの感激に、たゞくん〳〵と鼻を鳴らした。だが、其時猫が欠をしたので、急に中心を取外して、平均を失なひ、はつと見る間に鵞鳥の上から墜落ちた。鵞鳥もその機でよろよろと蹌けて、とう〳〵これも墜落ちた。見知らぬ人は何か叫んで、手を振つて、又何だか切りと說明を初めた。一時間中ピラミッドの稽古をさして、まだ些とも疲れを知らない主人は、猶稽古を續けて、鵞鳥にもう一度猫の上に乘つて行くのを敎へ、それから猫に煙草を吸ふことをも敎へた。

それで稽古はいよ〳〵終了になつた、見知らぬ人は額の汗を拭いて出て行つた。フェオドル・テモフェーキチは汚ないと云ふやうにクンと鼻を鳴らして、小蒲團の上に坐つて眼を眠つた。イワン・イワノヰチは餌の木鉢の方に行く。豚は又老婆に連れられて出て行つた。カシタンカはこの新しい澤山な印象のお陰で、つひ一日も知らぬ間に過して了つた。夜になつて自分の小蒲團は、いつか矢張汚れた壁紙のはられてゐるこの室に置かれて、フェオドル・テモフェーキチや、鵞鳥などの仲間になつて、其處に皆と一所に寢たのであつた。（未完）

瀬沼夏葉譯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母の情

（わが子の急に赴く汽車中の十時間）

吉川たみ子

朝飯をすませいつもの通り机に向つて書いて居つた電報と玄關での一聲に驚かされて披き見れば

ノブコドノキトクスグオイデヲコウ

一同は驚いた二三日前に無事の音信が來たばかりだのに急に危篤とは何事であらうと評議の最中又電報

キトク　スグ

もう考へて居る餘地はない用意そこ〳〵にして匆惶出立して午後二時二十分の列車に乘つたどれほどあせつても十時間は汽車に身體を任せねばならぬ、私は車窓に顏押しあて丶深き〳〵瞑想に沈んだ、危篤とは瀕死の病人が一縷の命脈を繋いで居る時の有樣を云ふのであるが或は既に命盡きて望みなき人となりたる時でも遠方の人を呼ぶには死んだと言はずして危篤の語を用ふるが例であるもう今頃は死んでしまつて居るのではあるまいか枕邊に集れる人々の悲歎の顏醫師の注射器さしあて丶首傾けたる有樣などあり〳〵と目に映じてさぞまあ最後の際に私を待つたであらう一日でも一夜でも否たとへ片時でも看病がして遣りたかつた口惜しい殘念と一時に込み上げてワッと聲立て丶泣き入つた、あなたどうかなさいましたかと隣りに居る人に聲かけられて我にかへり周圍を見れば人々の視線は皆わが一身に集まりて不思議そうに眺めて居る、まあ耻かしかつたと淚押し拭ひしつかりとして考へ直したこんどはすこし光明の方面へ向いた、あのやうな丈夫であつた子が一時の病氣でさう早く死ぬるものでもあるまい先方でも人の預りものといふ心配から少しの病氣に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も大事を取つて危篤と報じて來られたのかもしれんそんなことであつて欲しい一刻も早く行て思ふまゝに手をつくし全快をさせよう早く〳〵汽車の歩みがもどかしい、停車場での休みがながい一體停車場が多すぎる一そ飛び出して驅けて見ようかとも思ふたそんな事に無頓着の汽車は乘客を差し換へ〳〵幾つかの驛を過ぎ越しく行く何處が何だか少しも分らない、いつとはなしに又瞑想に沈んだ。思へば彼女が五歳の時夫は米國へスチング大學の學窓に研究怠りなかりしが私は夫の學成り業卒へて目出度歸朝せらるゝまで内願のうれひかけまじと神田なる高等女學校にしばし教鞭を執る身となつた家より程近き道をふりわけ髪のかげゆすらせからころ〳〵と下駄ならしつゝ尾いて來て校門に至るやさよなら〳〵と幾度もお辭儀して又もや下駄ならしつゝかへるが常の日課であつた愛らしかりし幼な姿學校の運動會に一等賞いたゞきし得意の顔母の病氣を看護して首うなだれし憂ひ顔學校を卒業して免狀手にせしうれしき俤それからそれへと走馬燈の如き聯想止まず又もやせきくる涙のかほ人には見せまじとハンカチーフに押しかくして泣き入つた急に後ろから先生ではございませんかと聲かけられ見れば立派な若夫人どこかで教へた人であらうと思ふたがけふは話をする勇氣もないので實はかく〳〵の次第で娘の急に赴くところですがあまり心配して氣分をわるく致しましたから失禮しますと斷つて又無言の人となつた仁丹を呉れたり背を撫でさすつたり親切に世話して呉れた直ぐ向に白髯いかめしき白衣の賣卜者が居てその御病人は幾才ですかと問ふ廿三才と答ふると頻りに手指のふしを數へて大丈夫ですきつと逢へますと答へたこの一言に力を得て限りなくうれしかつた常には賣卜者などゝ輕侮して居る私がかく感謝するのは子を思ふ心のやみと我ながらあやしんだ。悲んだりまた思ひかへして慰んだり苦痛煩悶の十時間はやう〳〵過ぎて上諏訪驛へ着した湖畔一里を腕車に托して病子の許へと急いだお母さん御遠方を有難うとの一語を聞いた時のうれしさ、あゝ間に合つたと實に蘇生の思ひをした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病氣は全身の大火傷いかなるはづみにかランプ落ち燃え上りたる火に家を燒くまじと防ぎし間に衣服に火の燃えうつりてかくの次第との事二日二夜の看病に手の盡されん限り人力の及ばん限りをつくしまゝになるなら身をもつて代つて遣りたいとまで思ふたが名醫の治療も同情あふるゝ知友の看護も恩愛の情燃ゆる母の熱禱もあはれ一片の効を奏せず

萬事は神の御心かならず歎きたまふなとの一語を遺して北邙一片の煙と消えたあゝ何といふ悲しい別れであらう憂き世の風雨人世の怒濤はこの妙齡の女子をも奪ひ去つた彼に關する總ての紀念はわが胸を裂き腸を斷つことのみ今迄隨分不幸にも遭遇し艱難辛苦も味はつて來たけれど此度はどの痛恨悲哀はまたとないあゝ……人々のあつき涙に送られて遺骸は茶毘一片の煙と化した遺骨を携へて汽車の中またもや瞑想の人となつた追懷の念遺恨の涙苦痛煩悶亂麻の如きわが胸をおさへかねて人目も構はず泣き入つた、忽ち何處よりか霹靂一聲

汝何を悲むか愛子の死かなしきに似たれども彼に取つて最大の意義あり又汝等生者に取つて重大の啓示なり汝徒らに悲むことを止めて神につける信仰をかため靈に於て新に生まるゝ事を期せよとあゝわれ過てり徒らに歎きて彼の死を徒爾ならしめんとして居つた神の愛はうき世の波瀾に堪へがたきかよわき彼をとこしへの平和のうちに召び還し給ひしのみならず怠惰なるかれらに愛の鞭撻を加へ給ふこの打擊によりこの鞭撻によりたのみがたなき地上の執着より脫してうごきなき天上の希望に向はしむ肉に死し靈に生きて向上發展の域に進ましむ奇しきかな愛の御手幽玄なるかな、神の攝理われらは只感謝あるのみ。

獅子吼（三）

溝の中秋來にければ孑孑は茶山花ちるな何とやおもふ。

女優ゆき舞姬もゆき我れも行く、木枯ならばかほりてふけよ。

秋の夜のおぼろの世界窺へば、女 囚の馬車がたゞ一つ行く。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男の罪

吉岡彌生

◎私は自分の職業から見て、男子ほど罪なものはないと思ひます。能く結婚して一週間ほどして、非常に腹部が痛むといつて、診察に來らつしやいます。こんな場合には、屹度淋病の黴菌が多量にある。然しこの時に早速充分養生すれば、一週間もたゝぬ間に全治するのですが、結婚早々ソンな事を云ふのは恥かしいとか姑に氣がおけるとか思つて、ぐづ〳〵して居ると遂に慢性にして了ひます。

そうして結婚後一年も二年もしてから、ドウも小兒がないから、診て下さいと云つて來られる。本人は女學生時代には壯健で些て病氣をした事もないのに、此頃すは絶えず頭痛して精神は不愉快で堪まらないと云ひ、姑や夫はこう弱い病人は困る、小供がないから困ると云はれる。こうなると男は屹度外の婦人に何か關係をつけ、不幸にして其婦人に小供でも出來ると、モー妻君の事は心配しられぬ、以前は度々夫の方も容態を聞きに來られたり、診て貰へ貰へと勸められた事もあるが、モー夫は歸つてさへ來ないかくなると妻君はます〳〵神經過敏になつて痩せ衰ろへたり、失神して胸に差込みなどが來る。迎へられて診察に行つて見ると、ごた〳〵した原因が屹度ある。男は第一の原因も第二、第三の原因も皆自分が造つておいて、罪を夫人に歸して居るのです。

◎手おくれになつたのでも入院でもして本當に治療すれば治るのですが、外來ではとてもつきませぬ。併し入院なすると云ふ事に就ても、婦人は姑や夫に遠慮をしてどうしても自己で定められないのです、もと〳〵夫から傳染したのであるから、何も遠慮はない筈であるが、屹度一度他の人が聞きに來てからでないと決定されないのです。誠になげかはしい事ではありませんか、立流な主婦がこれですもの。

◎婦人のヒステリーの原因は十中八九までこれで今一つは婦人の方の惡いヒステリーがあります。修養のない婦人は一から十まで我儘ですろ事なす事理も非もなく夫の大目に見て居るのに增長して、足らない〳〵が高じてのヒステリーがあります、これは婦人の修養が不足なのです男の不品行する場合にも子供があればちやんと妻君は妻君で立てゝおいてするのであるが、子のない妻君はたゞ世間への義理丈であつて自然愛情もなくなるから、ヒステリーを起す婦人は子供のない方に多いのです。

一口ばなし 國民性の差

西洋人「あなた米を一日搗いてどの位搗けます？」
米搗「まづ一俵ですね」
西洋人「さうですか私の方では百俵ぐらゐはつけます」
米搗「どうして搗くんです？」
西洋人「機械でつきます」
米搗「其機械はいくら位で買へるんです？」
西洋人「拾萬圓ぐらゐはかゝりませう」
米搗「えつ拾萬圓？西洋人は物好きだなあ、拾萬圓持つてゐて米搗なする俺ならば一生遊んで暮すのに」

あぐり

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女人國記（一）

新眞婦人社編

一 越後の女

◎越後の女と云へば、直ぐ女郎を想像するが越後全體が淫風盛んと云ふワケではない、越後の淫風に三中心ありて、夫れ〳〵面目を異にして居る點がある。

◎其の中心の第一は、云ふまでもなく新潟であるから新潟の話からしよう、新潟は元大なる漁村に過ぎなかつたが、ソコに良好なる港のありしより、色々な船舶が寄港することとなり、夫等の船の船頭さんが、女を要求する所から、ツイ〳〵娘を客の前へ出す樣になつた。而してダン〳〵新潟の繁昌するに從ひ、市内の女丈けでは間に合はぬので、近郷の女を誘惑する樣になつた。

◎信濃川の沿岸で、中蒲原郡の西部と、西蒲原郡の東部は、元來越後の中でも貧富の懸隔の甚しい所であり又越後の中でも最も舊道德、舊習慣の跋扈せる所であるので、一度洪水に遭ふて、一家が悲境に沈淪すると其家の娘は一家の爲めに如何なる恥かしい思ひでも辛棒しようとする。ソコへ新潟から人が來て、新潟へ行て女郎をすれば、藝者をすれば云々との話をするので一も二もなく、此の地方の女が新潟へ行き始めた。而して遂に滔々風を爲して新潟へ流れ込み、此の地方全體の風俗も亦た大に紊れて、此の地方へ乳母を求めに行けばイクラでも得らるゝと云ふ程に私生兒の母があるに至つたのである。

◎新潟へ女を供給する土地の風俗がコレ程だから、新潟市其者の風俗は全く言語同斷である。『新潟には男の子は育たない』と云ふ諺さへある程である。或人は『賣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

淫が新潟市民の根本思想だ』と罵つたが、ソウ云はれても仕方がなからう。

◎第二の中心は、三國峠の下で、昔越後から上州へ出るに通つた街道に沿へる部分であるが、此の地方に淫風の盛んなのは、一は山中で開化せず、古代のまゝの淫風繼續せるにより、二には鐵道が出來て昔の街道が荒れ、困る人が增へて、仕方のない所から淫を賣るものあるに至つたより、起つたものであるらしい。

◎而してモウ一つ第三の中心は、山形縣に接近せる岩船附近である。此の地方に淫風の盛んなのも、一は山中太古の風ある爲めで、幾分は淫風盛んな山形縣の影響を受けてでもある。

◎大體から見て、越後女の賣淫は生活の爲めに、辛棒してソンナことをするのであつて、道樂にするのでないと云ふ風がある。さればこそ越後の女で心中をしたものはない。關東の女、殊に埼玉の女は、之れとは違ひ淫事を樂しみにすると云ふ風があるので、各紡績會社の內規に『埼玉の女は入れない』と云ふ一ケ條があるとのことだ。

◎越後から出た女郎で、金を拵へて國へ歸つたものも多く、今の宰相山本權兵衛さんの奥さんの樣に出世したものもあるが、明治四年都下に窮民續出した時、金一千圓(今で云へば一萬圓以上に當る)を窮民救助の爲めに寄附した今紫の樣な女もある。

◎古來戀の爲めに隨分と大膽なことをしたものは多いが、おべんの如きは稀れだと思ふ。おべんは佐渡の女であるが、柏崎の男と戀し、佐渡から四十五里の波の上を、片々たる半盥に乘りて、柏崎に通ひ來たり、遂に笠島沖にて溺死したのである。女の一念程恐ろしいものはない。

◎おべんの如く大膽で、而かもおべんよりも奇拔なるはお市である。お市は幕末に出雲崎で俠婦と云はれた女である。一日お市は手形を持たずに八崎の關所を通らうとした。關所の役人がコラ〳〵と呼び止めて、手形はと云ふと、お市は『鳥や獸には手形がない』と叫び四つ這ひになつて、通つて了つた。役人は苦笑して

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

追つかけなんだと云ふことである。

◎据置貯金の主唱者として有名な安部銀子も随分變りものである。銀子は自から好んで、貧乏で、子供澤山で、其の上に大酒飲みの男子を尋ねて、其の後妻となり、子供も育て上げ、夫も品行方正にして後ち、之れからは社會的に働くと云ふて、据置貯金の運動を始めた女である。

◎長岡の山口せい子女史も亦た變りものである。女史は其の子女の成人するまでは、何時も髪を丸髷に結て臺所の事ばかりして居たが、子女が成長して了ふと、『私は之れまで何にも意見のない様な顔をして、猫をかぶつてましたの』と云ふて、社會的に活動し始めた。

◎女史は『男子の醜業婦に近づくのは、必竟するに、世の奥様方なり、令嬢方が、餘り引込思案過ぎて、成るべく男子のお相手を避けるからである。若し奥様方なり令嬢方が、進んで男子の御相手をするやうになれば、ドンナ男子でも、奥様や令嬢の前では、醜業婦と戯るゝやうな勇氣はなからう、であるから男子の悪風を矯正するには、吾々同志の婦人が率先して男子の御相手をするに限ると考へて、長岡の或町に一の倶樂部を拵へて、其處へ紳士達が遊びに來れば、同志の婦人が出て御相手をする、女史は勿論夫の許可を得て毎日ソコへ出張して居た。此の企ては、大分効を奏したが間もなく離間中傷する者が出た爲めに、不幸にも倶樂部を廢止せねばならぬことになつた。

◎斯くして倶樂部は倒れたが、女史は倒れない。せい子女史は更に一工夫して上京し、熱心に東京の名家を說き廻はりて、其の賛助の下に、風俗改め會を拵へ、其の支部を長岡に設け、自から支部長となりて、爾來引續き、風俗改良に盡力して居られるとのことである。

◎女史には尙ほ、一人旅をして、甲府の旅舍に宿泊し湯に這入て居る所へ、一人の紳士も入浴の爲め這入て來ると、女子は直ぐパチ／＼と拍手して、主人を呼び大に其の不都合を責めたと云ふ話もあり、曾て汽車中で悪臭を發する手荷物を持て乗り込んだ紳士を堂々演說口調で攻撃したと云ふ話もある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎越後の女の中から、エライ女流教育家の數多く出て居ることは、又注目せねばならぬことである。福島師範で非常の感化力を見せた牧野淸子の如き、今リオンの領事たる木島孝藏氏の夫人となれる宇佐美はる子の如き、其の最も傑出せるものである。はる子はお茶の水で『年中お祈りをして居る樣だ』と云はれた婦人である、女郎の產出國として名高き越後からコンナ謹嚴な婦人も出るとは面白い。

◎越後出の女流教育家で、尙ほ一人特筆せねばならぬ人物がある。其は高岡みつ子女史である。女史は元、大森みつと稱し、明治二十九年に新潟師範學校の女子部を卒業したのである。卒業後五年の義務年限の間、故鄕で教鞭を執り、義務年限終ると共に上京して、盲啞學校の助教授となつた。

◎みつ子女史が何せ盲啞學校の助教授となりしかに就ては、淵源がある。女史の父は高田藩の藩士であつたが、或時藩の目安箱へ大變な事を書いて入れて置いたと云ふので、國に居れなくなり。獨逸まで逃げて行て醫學を修め、維新後高田へ歸來して、高田に訓盲學校を創立した。であるから女史は幼少の時より盲人に對する同情心を吹き込まれて居たのである。而してかねがね盲啞の爲めに盡したいと思ふて居たから、新潟の師範を出て、義務年限終るや否や、直ぐ上京して盲啞學校の助教授となつたのである。

◎盲啞學校の助教授となつて間もなく、女史は點字で言海を拵へ上げた。女史は又、小西校長はヘレン・ケイは偉いなぞと外國の盲人を褒めるが、我國の塙保己一程エライ盲人はない、どうかして彼の群書類聚を點字にし、多くの盲人に知らせたいものであると云つて居たと云ふことである。其の如何に辛棒強よく、又抱負の大なる人であるかゞ分る。

◎小西校長の知人で、高田と云ふ法學士があつたが、此の人は不幸にも中年で明を失した、みつ子女史は小西氏の媒介で此の人と結婚し夫の世話から、家事一切其の上に學校へも通ふて、尙ほ夫の爲めに、其の好きな八犬傳を讀ませたいと思ふて、八犬傳を點字にして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

了つた。

◎この辛棒の善い點に於て、女史は確かに越後の代表的婦人であるが、女子は又至極儉約な、物を粗末にせぬ人である。此の點に於ても、女史は又越後の代表的婦人である。

歌（六首）

松虫のよすがらなきしきるに夢も結びあへず

尋ねても都の人のきくものか
あなかまやどのまつむしの聲

今さらに身をしるあめの紅は
すみのころもを海老染にして

近くわたましける人に

つまこめにつくる野守が八重垣は
なゝいろ雲のなゝくさのはな。

おもふこと多き夕ぐれ

あはれあはれといひてなかめなむ
思ひにふさふことしなければ、

わがみそぎ御手洗川に見し神は
うけむうけじに今まどふらし

むづかしき人心の見ゆるこゝろするに、

さは憎きふしも見ゆべしなよ竹の
よにふるみちのすぐにあらねば　（柏女）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小供の恩人

(一)西島義豊師

◎小供の恩人のことを書きたいと思つて、先づ四谷區寺町西念寺の住職西島義豊師を訪問した、西島師は去る四十一年の十一月二十三日からお寺を小供の爲めに開放し、又其の時間と勞力の殆んど全部を犧牲にして、小供の爲めに盡されてる人である。

◎即ち毎日曜日には、夜間、鮫が橋の兒童を百名位集めて小供の會を開き、毎月第二の日曜日には午前九時より特別の會を開き(之れには五百名位集まるとのことだ)又毎日學校の放課後兒童の寺庭に來りて遊ぶことを許し、寺の最も善き一室を提供して、兒童圖書館と爲し兒童をして讀書をしようと庭で遊ばふと、自由ならしめてある。其の外に唱歌の會もあれば、ヤヽ長じた女の子の爲めにお茶の會もあり學校で成績の悪い兒童の爲めの復習會もあり之れ等の仕事の一切を師が一身でやられて居るのであるから、其の多忙さは想像せらるゝ。

◎師はダン〳〵立木や石を他へ移して、前庭を全然兒童の遊戯場にし後庭は畑にして一坪位づゝ兒童に貸與し、各自責任を以て茲に播種し、茲に水をやり、肥料をやることにせしめたならば、大に兒童の爲めにならうと云ふて、着々其の準備をされて居る。

◎兒童の圖書室にしてある所の疊は、一年に二回位代へねばならぬ樣に磨れて汚くなり、又其の障子は絶へず張らねばならぬ樣に破れるが師はソンナ費用や勞力を少しも意として居られぬのである。

◎師が斯くお寺を兒童に開放されてるので、西念寺の附近には、自轉車や人力車にしかる、小供がないと云ふことである。

◎ソレから又、兒童を世話して居る中に兒童が長ずれば職業の周旋もせねばならぬ樣になり、何時とはなしに兒童の親とも懇意になつて、自然家庭に不和でもあれば相談に來られることにもなる、仕事がソレからソレへと增えて、枝に又枝が出來て行くから面白いと云ふて師は其の多忙を悦こんで居らるゝ。

◎三年も四年も世話して、其の性質氣心を知り悉して居る私が、小僧なり、子守なりに奉公口の世話してやると云ふことになれば、キツト普通の周旋屋よりは、其のものをソレ〳〵適所へやることが出來るに相違ない、で私は職業の周旋もしようと考へて居ると、師は語られた。

◎又曰く、世話して居る兒童がダン〳〵大きくなるに從ひ青年會も、婦人會も拵へねばならぬことになつて來る。私は當然增へて來る、せなくてはならぬことは何んでもして、何時までも今世話して居る兒童を世話して行きたいと思ふて居ると。

◎目下東京市中に、佛敎徒のやつて居る小供の會が五十あるとのことだ。師等の先驅によりて、ダン〳〵お寺が其の一部を兒童の爲めに開放し行くの傾向の現はれて來たことは、如何にも悦こばしきことである。

〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

次號では

高橋丁照師

のことを紹介します　(記者)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

研究

婦人寄生論

（オリヴ・シユライネル女史の『婦人と勞働』紹介の四）

第三章

高野重三

女史は南アフリカ洲のツランスヴアール國にて鵞鳥を飼ひながら、身を文藝に委ねて居る女丈夫にして、女史が妙齢の時より老年に至る間、殆んど其の全生涯を費やし深く研究して書き綴りし婦人論の原稿が先年英杜戰爭の時無殘にも焼き棄てられしにも拘はらず、病弱なる老軀を押して記臆の裡より其一部を再記して世に出だせしものが乃はち本書である。其卓越したる意見、其條理整然たる議論、其將來を洞察したる眼光は、實に驚く可きものがある。之れを行ろに熱烈雄健なる文章を以つてして、一躍歐米に於ける婦人論の聖書と渇仰せらるゝに至つた。而して其内の婦人寄生論は着眼殊に凡を抜き、最近婦人問題に關する著書中之れを引用せざるものなきに見ても、其勢力の如何に偉大なるかを知ることが出來る。就中其第三章は女史が最も心血を濺ぎしものにして、其識見の豪邁なる、其抱負の雄大なる、且つ其の心事の高潔なる近時稀れに見る一大快文にして、一讀三嘆措く能はざらしむるものがある。予は前二章に對し單に其大意のみを講演せしも、本章は特に大意に加ふるに拙劣生硬なれども多くは予の譯文を以てし、女史をして遺憾なく其感慨と抱負とを披攊せしめん事を試みた。讀者幸に愚意のある所ろを諒とし本章を再三再四熟讀し、新らしき婦人は大に自ら省みる所あり、世人も亦たそれにより近時の婦人問題の眞相を了解せられん事を切望する。

第一章の梗概　科學の進歩と工業の發達によりて社會の生活狀態が一變し、男女共に手足の力役すたり、男子は專ら智的の勞働に移り、而も其範圍益々增加し行くに關はらず、女子は家庭内の勞働も減少し子女の敎育も漸次人手に委し且つ子女を生む事さへ昔程其必要を感ぜざるに至つた。

第二章の梗概　男子は職を得て働かざれば餓死あるのみなれど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子は之れに反し勞働せずとも、一生を男子に寄せ其情慾を滿たす受働的勞働さへ甘んじてなせば、少しも生活に苦しむことを要しない、而して此女子の寄生的生活は個人に取りては墮落の原因となり、一國に取りては其滅亡を釀もす原因となるのである。希臘、羅馬、猶太、土耳古、支那等皆然らざるはなし。元來女子の採り來りし家庭内の勞働は、男子の勞働たる戰爭又は政治等よりは容易なるが故に、少しく富の增加したる場合には直に之れを他人に委して、自ら安逸を貪ぼり易く又女子は其特質上情慾の受働的勞働にのみ陷入り易き傾あるが故に、若し女子にして速かに男子と同樣に智的勞働に從事せざれば女子の寄生的生活は直に始まり、その元氣は從うて萎靡し、其生む所ろの子女等は自然元氣弱き男女となり、個人より引ひて一種族、一階級に及ぼし、終に一國の衰亡を招くに至るのである。

古代に於ける婦人の寄生的生活は、僅かに其當時の上流社會の一部分に止まり、其以下の大部分の婦人は上流社會の男女の爲めに、劇しく勞働して居りし爲め、間々强健なる下等社會の子孫が上流社會の柔弱なる子孫に取りて代りし位に止まりしも、近代に至りては殆んど一切の働は勞力を節約する器械によりてなさるゝに至りし故に、啻に上流社會のみならず、上下の兩社會の間に介在する無數の階級は素より、終に下等社會に迄其勢は波及し來り、向後五十年間に於ては古來の家庭内に於て爲し來りし婦人の勞働は、一切婦人によりてなされずして、總て日新の器械にのみよりてなさるゝに至る可し、從うて古代に於て僅かに一小部分を侵せし寄生的生活は、現今の狀態にては更に婦人全體を侵すに至る可し、故に目下の狀態に際し婦人が新らしき重要なる位地に於ける總ての勞働を男子にのみ委して滿足し、又家庭内に於ける古き働が永遠に其手より脫れ去るに際し、何等新らしき勞働を己が手に握らざれば、文明社會に於ける婦人の單に一階級のみならず、其全體も亦た皆性的職務にのみ賴らざるを得ざる狀態に淪落せざる可からざるは免かれざる所ろなり。乃はち人類の半ばたる男子のみが智的又は最も熟練したる手工的勞働の全範圍を奪ひ、他の半ばたる婦人は一切活潑なる勞働を息め、情婦又は圍者の如き賣淫婦として、只生殖上の受働的器械則はち男子の情慾を遂げしむる一種の道具となりて、全く救ひ難

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

き寄生的婦人の狀態に沈むに至るや明かなり、女史は玆處に其感慨を洩らして曰く、

斯るが故に婦人の寄生的生活は十九世紀の終り二十世紀の始めに於て從來嘗てなき外觀を呈せり。又斯るが故に十九世紀及び二十世紀の歐洲婦人たる予等は、過去の文明社會に於ける予等の先驅者の誰一人たりとも未だ同樣に經驗したる事なき、眞面目に且つ重大なる位地に立てり。予等が其位地の困難に打勝ちて向上するか、或は倒れて打勝たるゝか其の勝敗の依りて繋がる所は、單に予等自身の階級のみの事にあらず、又予等自身の人種のみの事にあらずして、同じく文明の階に將さに予等に續いて來らんとする數多の大團體の運命の繫がる所ろなり。予等が當さになす可く呼出されてなさんとする決斷は、是れ人類に關する決斷なり、予等の後には數ふ可からざる幾億の民衆が踵を接して臻りつゝあるなり。

然るに世の識者と稱せらるゝ人士の中には、婦人問題は男子の勞働問題と全く同一のものにして、今日の歐洲婦人は只靜かに男子が己が問題を解決するを待ち居らば、同時に彼等自身の問題も從うて解決せらる可しと稱するものあり。之れ大に謬れり、如何となれば男子の勞働問題が幸に明日にも解決せられたりとて、そは只男子の富が增し其境遇が進步するに止まり、婦人は却て其爲め寄生的生活に導かるゝ誘惑が增加すればなり。蓋し寄生的生活の起源に關しては、何等一定したる富の額なし、如何なる額にもせよ、男女を問はず供給せられたる額にして其者が自ら働かずして衣食するを得るに至れば、寄生的事實は直に起ればなり。且つ時々婦人が其位地を改善せんと試み居る際、又は新らしき智的の職業に入らんとする際、男子の勞働者又は專門家より個人として或は組合の如き團體として反對され、迫害せらるゝのみならず、古來婦人の特有の勞働たりし紡織又は手工の職業よりも彼等を除き去らんと企て居る男子あるを見ても、假令男女の勞働問題は其起り來りし原因に就ては同じとするも、其進行する道行の大に異れるを知り得べし。故に兩者共獨立に其特

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

種の基礎に於て戰はれざる可からず、殊に婦人の側に於ては、其決心したる自覺したる持續的なる活動によりて、彼等自身の勞働に關する諸問題の解決を謀る可きなり。男子の勞働問題は重もに物質的關係より貧困なる勞働者の間に起り、婦人の勞働問題は重もに富みたる或は常に腦力を働かす階級の婦人により唱導せられ、且つ其爲め自己の安樂に對し最も重大なる損害を蒙むるをも顧みずして起るを常とす、男子の勞働運動は直接に又最初は物質的なり、而して表面のみにても多少利己的なり。然るに現今の婦人勞働運動は專門的政治的又は大に熟練したる勞働の門戶を彼等の爲めに開かれん事を要求するも、其終局の目的は多少痛切に且つ直接に自身の悅樂を放棄する事にのみよりて達する事を得るなり、此點に就き倘ほ詳細に女史をして暫らく自ら語らしめよ。

現代の婦人運動をなしつゝある婦人が、彼等の働により彼等自身に取り何等直接の利益を來さず、又其利益を受くる事能はず、却て其運動が彼等を直に且つ必然的に損失と犧牲に導くものたるの意識が、其運動に甚だ異常なる調子を帶びしむ、譬へば數多の經濟的運動より分離して時代と時代の間に時々起る、宏大なる宗敎的運動が、人類を風靡して何物も之を變化し、改造せざれば已まざるの慨あるがごとし。乃はち彼れ自身の爲めにあらず、又只に同胞婦人等の爲めのみに非らず、全人類の利益のために、彼れ自身の生活を改善せしむるの必要あるを認むる事は近世婦人の最も淺薄に且つ一見取るに足らざるが如き企にも一種の威嚴と重味を加ふるなり。

此の深き隱れたる信念が、人をして力なき婦人の憐れなる小さき「婦人の權利」の文字ある旗を、講壇の一端にて打振る其態度の可笑味を感ぜしめず、又單に社會進行上の永き年月の間に避く可からずして生ぜし結果さへも彼れ自身に故意に蒙らしめられし罪過の如く感じ、彼れ自ら現今婦人の狀態の苦痛及び罪惡を代表し必らずしも賢明なる思慮を費やさず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して彼れが頻りに熱烈なる攻撃を逞うする事も、人をして之れを怨するの雅量を生せしむ。

斯く述べ來りて女史は女史が特有の熱烈なる調子を其言辭に帶びしめて曰く、

此利己的ならざる義務の偉大なる意識は、少女等が慰安と奢侈に滿ちたる家庭を遠く離れて、都會の天井裏の陋室に入り、其淋しき裡に又四圍の傾向に逆らふ總ての人の感ずるが如き嚴しき壓迫を感じつゝも、尙ほ新らしき勞働に入るに必要なる智識を得んとする動作を賤しむ可き價値なき事として考ふるの念を起さしめず。又此深き意識が半ば餓ゑたる女生徒をして、近世の智的勞働の戰場に於て男子の傍らに己が位地を占め、大々的優勢の敵軍に當り勝つも敗るゝも我等人類進化の過程に於て、己れを道知るべと爲さんとするの覺悟を以つて進ましむ、其姿の如何に勇ましきぞや。此大なる利己的ならざる目的を達せざる可からざる事も、又此目的を達する爲め各個人が如何に賤少なりと雖も、己が分を竭さざる可からずとの意識が各婦人の働をして其新らしき改善の爲めに戰ふに當り、彼れを妨ぐる衣服擧動又は習慣に關する流行の壓制に反抗せざるを得ざらしむ此意識は個々の婦人が、物質的及び精神的の修養、及び發展に關する努力をして、莊嚴なる意義を含ましむ、此意識は少女の心に崇高なる熱心を鼓吹し、アフリカ或はアメリカの場所離れたる山野のいと淋しき農家にて深更に至る迄、恰かも初代の基督教徒が其聖書に眼を曝らせしが如き情熱と熱心を以つて己が書籍の上に身を屈し、以つて將に來らんとする年月の中に、其增したる智識により未だ知らざる職務を以つて世界の爲めに盡さんとの志を起さしむ。此大なる利己的ならざる目的により、徐ろに且つ知らざる内に彼れの動作により、他の數多の婦人に犧牲の力を得せしむるとの意識を得ば、假令法律的結合(婚姻)に依り總ての外形の名譽を得るとも、彼れに單に軟弱の傾向と寄生的生活を與ふるのみの場合は、決然として兩性の關係に於ける劣情を放棄せし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

むるに至らしめ、甘んじて貧苦を忍び勞働に耐へ、男子よりは婦人に取りて最も深刻に感ぜらるゝ兩性間の分離をも敢てし、又婦人存在の最高の幸福として婦人特種の不足と有機的苦痛を充分に償ふに足る母たる資格をも放棄し、以つて彼れの跡を追ふて生れ來る婦人に眞に母たり妻たる資格のヨリ高尙にして充實したるものを得せしめんとす。此意識が物質的或は精神的勞働の新らしき範圍を塞さぐ爲め閉されたる門戶を、最も微賤なる婦人が叩く事をして莊嚴重大ならしむ、如何となれば彼れが叩くは彼れ自身の爲めにあらずして、全人類に奉仕せんが爲め叩くとの確信あればなり。

此の、彼れ自身の生涯及び個人の利益に超越したる目的を達せざる可からずとの意識が、現今の婦人運動に宗敎的分子を含ましめ、而して如何なる人種階級及び國民に屬する婦人をも利己的ならざる熱心なる共通の連鎖を以つて一の堅實なる團體に固結せしめ、以つて婦人生活の改善の爲めに戰はしむ。此意識が個人としては種々の缺點又は失敗等あるにも關はらず、此等の婦人が組織したる團體全體としては近世勢力の最も感動す可く、又敵し難き團體の一つを形成せしむるなり。

彼の巨大なる勝利軍の一兵卒が、村落の街路を帽子を横ちよに冠り、刀劍を兩脚の間にぶらつかせながら步行する姿は餘り見善きものにあらず、又其武器を磨き上げ或は小皿を洗ふ姿は餘り威嚴あるものにあらず、然れども是等の兵卒により大軍團は組織され而して明日にも一旦緩急ありて召集せられんには、其蹂躙にて世界を震撼せしむるものあらん。（論旨茲處に一轉して益々佳境に入る）

此婦人の戰爭に參加せる數多の婦人中、多くは其位地の不調和を醸せし原因、則はち彼等を其動作に强ひ勵ましたる大なる中心的原因、又は其改善によりて生ずる利益を科學的正確を以つて理解し、又は明晰簡潔なる言語を以つて說明する事能はざるべし。恰かも大軍團中の一兵卒が己が一身を捧ぐるに躊躇せざる程、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其祖國を愛するも、過去に於ける彼れの祖國の歴史に付き明晰簡潔なる說明をなし、或は彼れの働によりて生ずる利益を正確に詳細に說明し能はざるも、尚ほ彼れは彼れの祖國が彼れの働を要し、又彼れが彼れ自身の微賤なる位地と職務を知るが如し。

論じて玆處に至り女史の說く所ろ最も精緻を極む。譬へば嬰兒が生まるゝ時、婦人の子宮の外孔を經過し、それより輪狀を其頭上に形造り、而して其頭が子宮の外孔の大さに依りて永遠に定まり、而かも其擴大は單に子宮の外孔の大さの永き年月を經過する裡に自然に徐々として擴大するに因りて增す如く、總ての人類は各時代が鑄型を經過して出で來る如くに、女性の肉體を經過して出で來り、其上に消す可からざる痕跡を印して再現するものたる事、卽はち婦人の智力の含蓄肉體の元氣及び感情の深さ等が超ゆ可からざる圓形を形成し、而して其跡に續き來る各時代に於て之等が其當時の人類の膨脹の限度を示す、此大なる中心的事實さへも、明かに且つ智的に之れを理解する能はざる婦人もあらん。又恰かも古き神話と狹き個人の樂土の夢が予等の眼より消へ失するに從ひ、予等の發展が漸次靈智の希望と化し其光に浴して予等が其生活を續くる如く、又恰かも原始時代の予等の祖先が震へる兩脚に依りて直立に步まんとて努力し、或は言語を發する爲めに其唇を適當に動かし始めたる其時代よりは現代の人類が僅る如く、又遙かなる將來の人類が現代の最も進步したる人類の個人よりは智力に於てヨリ高く、社會的同情に於てヨリ廣く發展し、又人類の男女の兩半分が過去に於けるが如く倶に進み又相提携して膨脹する事にのみよりて發展する其深き眞理さへ的確に、又論理的に彼等の動作の基礎として理解する婦人は誠に尠なし、斯くして地球上に於ける人類が其發展を持續するには、最初の人類の男女が手指の數よりも多くの數を數ふる事能はず、奧妙なる觀念を握り發展して、文明社會の數多のサッポー（希臘の女

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

詩人）アヲストートル（同哲學者）又はシエリー（英國詩人）となりしは、男女兩性が倶に相提携して進歩したるに依れり、又男子の頭腦の働が複雜になるには女子の頭腦も同樣に働き、女子の前頭が隆起するには男子の前頭も同時に發達し、人類が永く向上的の進行を爲さんとするには、男女相提携して進み又遺傳によりて互に相影響するにあらずんば進歩は不可能なり。アフリカのブッシュマンの存在はそれと同樣なる能力を有するブッシユウーマンの存在するに非ざれば不可能なるが如く、男子間にウキルリアム、キングトン、クリフホルド（英國有名の數學者）トルストイ（露國の貴族にして思想家）ロバルト、ブラウニング（英國の有名なる詩人）等を生出する種族は、又其女性の裡にソフイア、ゴヴアルヴスキー（露國の有名なる婦人にして數學者）ジヨールヂ、エリオツト（英國の有名なる閨秀文藝家）ルイズ、ミケル（佛國の有名なる婦人政論家）等を生出するに至らざるべからず。將來に於て我等が夢見つゝあるより高尙なる、又より社會的になりたる人類の現出は、男女兩性互に相進化し今日は男性明日は女性と互に生命の毬を擲げ合ひ取り合ひ、而して其毬が互に彼等の手を經る毎に少し宛又識別しがたき程宛膨脹し又美麗に成るを要するなり。實に兩性の間互に相混化して進むにあらずんば、眞實に又永續的に人類の進歩は見る能はざるなり。

斯く熱心に論じ去り論じ來りし女史は、百尺の竿頭更に一歩を進めて曰く、

智識廣く考へ深きイーヴの之れを生むにあらざれば智識廣きアダムなく、智識廣く同情厚きアダムの之れを生むにあらざれば、智識廣く含蓄深きイーヴなく、又智識廣きアダムとイーヴなかりせば、地上に於ける智識廣き優美なる人類の子孫はあらざりしなり。一性の挫折は兩性と其跡に續く人類全家族の挫折なり。若し過去に於て精神も肉體の限りなき訓練により數ふ可からざる時代の間男子と相提携して向上し、男子と共に進歩し來りたる女子が今日其發達

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の極點に達したりとて、最早や少しも進歩せずとせば人類全體の進歩も今日終に此處に止まらざるを得ず。此處に女子が挫折し止まらば同じ場所に人類の旌旗が立てられし儘にて最早一歩も進まざるに至る可し。無益の虚飾にて飾られたる臥榻の上に横はれる寄生的婦人則はち男子の玩弄物たる事が、地球上に於ける女性の永續的なる最後の現象たらんには其臥榻は正に人類進化の死の床たるなり。要之是等の深く下に横はれる眞理は、婦人境遇の改善の爲め活潑に奔走し居る數多の婦人中一人と雖も明瞭に痛切に之れを理解して容易く的確なる言語の形に表はす事能はざる可し。然れども此運動に從事し居る最も弱き婦人と雖も、是等の眞理の存在を朧ろげながらも尚ほ深く意識し、之れによりて勵まされざるものなかる可し。彼れが今日彼れの手近なる個人的の働により除かんとする僅かなる罪惡の外に、數多のヨリ大なる罪惡あり、而して彼等は僅かに其萠芽に過ぎざるを感ず、彼れが爲さんとする小さき善事の外に尚ほ宏大にして一般的なる悦樂あるを信ず。今日の僅かなる鬪ひの外に彼れ自身又は彼れと同じき女性のみならず、全人類に關する大苦鬪の存在するを知るなり。

而して今日婦人運動に從事し居る普通の婦人には、斯かる心理的態度を採る可きにも關はらず、其運動の背後には斯かる大なる推進的なる事情の存在するを論理的に講壇にも文藝にも述ぶる能はずして、單に之に附隨したる議論のみを擧示するが故に、世人をして此運動の無力にして或は終に失敗に終はる可き徴證なりと誤解せしむる場合なきにしもあらず、然れども人世を革新したる總ての偉大なる運動は、孰れも皆決して學派の斷れ〲なる論理或は抽象的なる論斷より得たるものにあらず、此等運動の主動者さへも其複雜したる狀態を彼等自身に明らかに理解し居る哉否哉疑なき能はず、彼等は單に大なる共通の必要を感じ、他人よりはヨリ強よき意志熱情及び智力を有するが故に、他人が沈默を守りし時進んで發言し、他人が無意識に希

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

望する事柄に有識なる方向を示したるのみ、且つ個人の我儘なる意思に原因せる人爲的の社會運動は、如何なる決心と道理により導かるとも、必らず短命に終るは免れざる所なり。

譬へば一人のアレキサンドル起りて希臘と亞細亞を打つて一丸となさんとし、或は一人のナポレオン起りて分離した歐羅巴を一の統一國に創造せんと欲し或は暫時熟練と決心との働により彼等の希望を達するが如く見ゆるも、一たび其壓制したる個人が取去られんには、恰かも海濱にて小兒の掌の下に掻き集められたる濕りたる砂の、小さき堆積が一朝其掌が取り去られんには風にて散され波にて洗はれ忽ち解け去るが如く、終に土崩瓦壞するに至る。之れに反して其砂の堆積の傍に横はりつゝある海月の小さき柔かなる漠然たる水々しき一片は、水と風とにより此處彼處に動搖さるゝも、其分子は其内部に存する有機的の力にて結び付けられ居るが爲めに、啻に其形を保つのみならず益々成長するに至るが如し。

而して過去數世紀間歐洲の運命を動搖せしめたる宗教的智識的運動に似て、婦人運動も今日得たる優勝なる位地より回顧すれば、統理的の人智により、守護せられ、一つの巨大にして持續的なる運動の如く見ゆるも、其運動を起せし個人と個人の間に何等の連絡ありしにあらず、乃はち從來の義人等が其唱ふる所では各々異なれりと雖も、自らの信念を主張して枉げざりし爲め其當時の人よりは或は迫害され或は追放され或は燒殺さるゝ迄に至れるも終に思想の自由は益々擴大されたるに均し、此點に付女史は昂然として戰勝者の態度を以つて叫んで曰く、

終に今日に至り薄らぎつゝある反響の如く、空漠たる信仰の理由の下に瑣細なる不便を強ひん爲め、僅かなる小供らしき企圖の姿にて壓し來る迫害の永き戰の最後の音響は、我等の周圍に消へ去りつゝあり見よ人道の先鋒は既に思想の自由の戰に於て勝利を得たるに非らずや。

既に各地に散在せる婦人運動者の目的則はち其唱ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る所ろは同一ならず、或者は婦人も男子と同樣に公共的社會的職務に於て信用ある地位に立つ可きものなりと唱へ(1)或者は婦人は修養の爲め確固たる努力をなす可しと主張し(2)或者は婦人の勞働の範圍を擴張し且つ其報酬も男子と同樣たる可きものなりと叫び(3)或者は男女兩性間の關係を改善せんと謀り(4)或者は個人動作の自由を說き(5)又或者は個人の自覺を高調する等(6)千差萬別なり。而かも此等の異なりたる又一見掛け離れたるが如き運動が、混化し調和して終に世界に於ける一大運動となるなり。而して女史は此運動をセントポール寺院の如き數百年も掛りて落成せし建築物の工事に比し、其關係者の狀態と苦衷とを詳述して曰く、

今日或る大なるゴシック式寺院を其最後に落成したる形に於て見る人は、そを或る一天才の夢想の權化とも見るならん。然れども實際は大に異れり。最初琢磨せざる石を基礎として敷かれしより、最後の尖塔及び尖閣の其上に置かるゝ迄には數百年の永き年月を經過したるものにして、最初基礎石を敷きし手は冠頂に最後の石を据ゑたる手とは異れり、數代の間工人は幾度も變はり、各々雨樋の口或は裝飾をなしたる丸窓、或は尖塔を造りつゝ其仕事を他人に遺せり、最初粗なる略圖を引きし建築主任は死して其仕事は他人によりて續かれ、從ふて落成せし建築の詳細なる事に至りては最初企だてられたる建築に似たる所誠に微々たるものあり。且つ工人は誰れも他人が成し或は爲しつゝある總ての事に就いては十分理解せざれども、而かも自分の持場に於て不怠勵きたり、而して其落成せし工作物は不思議にも統一を保てり、其は只に一人の心の希望と必要を顯はしたるものなればなり。而して雨樋の口を彫刻し或は裝飾を施こしたる丸窓を造る爲め、其事に專心從事せし工人の此工作物の存在に必要なりし事は略圖を引きし最大建築家にも劣る所なし、如何となれば建築家は朧ろげなるにもせよ、最後の石を据ゑられ、或は最後の尖塔が建てられたる時の工作物の姿を想像する事を得たれば、假令自ら最後の石を据ゑ或は最

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

後の尖塔を建つるの名譽を彼れ自ら受くる事能はず而して其工作物の充實したる美觀と堅固なる事を身自ら決して見る事能はざるを知ると雖も、熱心と誠意とを以つて働く事は容易なればなり、反之日傭ひの職工は何等完全なる幻影さへ見る事能はざりし爲め、彼れの小さき持場たる雨樋の口を彫刻し、或は其壁外に張り出せる窓の裝飾を施こす爲め、日々忠實に彼れの職務に勵むは如何計り辛らき事なりしぞ然れども斯かる者の誠實なる勞働により、而かも彼等の周圍に群がり集まりたる數多の欠けたる不必要になりし石片の裡に終に其工作物は其堅固に美麗なる姿となりしなり。

女史は婦人運動者の苦衷を更らに壓制に滿ちたるエジプトよりイスラエル人を誘導して相續の地として約束せられしカナンの地に入れんとして冷嘲熱罵非難攻擊の裡に幾度か失望落膽せんとせし心を自ら勵まし不撓不屈終に四十年間アラビヤの砂漠に迷ひし、モーゼと其部下の境遇に比し、悲憤の涙に咽びつゝ說いて曰く、

ビスガの顚に登る事を得しモーゼには、苦しき涙の覆ひを通ふして彼れの前に展開せる相續の地を見る事を得たれば、假令彼れ自らの足を以つて之れを履み、又其手を以つて自ら其果實に觸るゝ事、決して能はざりしとは云へ、尙ほ踵を後へに轉んじて終に空しく死する事も餘り苦しからざりし事なる可し。如何となれば假令夢幻の如くなりしとは云へ、兎に角一度は其地を望見する事を得たればなり。然れども足一度もビスガの顚に登るを得ず、遙かなりとも其地の眞實なる外形をさへ見る事能はず、徒らに白骨を砂漠に遺棄せし數千の人衆には又其永き進行の過程に於て神檀は素より神鼓さへも奉持するの名譽を得る事能はず、僅かに彼等自らの少し許りの器具或は所有物を携帶せしのみの者には、只遙かに何處にか前途に約束の地あるを知るのみにて空しく沙漠に倒れ朽ち果つるは如何に苦しかりし事ならん、然れども斯かる人衆の遲き而かも間々動搖したる進行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

によりて、終に約束の地に達せられしなり。
斯く說き來りし女史は、再びゴシック式寺院工作の工人の境遇に思を馳せ、更に修辭の美を盡して曰く、現代の婦人の苦鬪と悲哀によりて導かれ行く大なる悅樂の境遇を、遙けき將來を通じて見る事を得る洞察力を有する婦人が、彼れ自ら決して入る能ざる事を知れる將來に於て、智識廣く氣力強くなりし婦人等が同樣なる人類を携へて前進する事あるを現在より知るも、倘ほ諦らめ動かざる目的を以つて働くは餘り難き事にあらず、然れども斯かる眼界を有せず只彼等の働により導かるゝ大なる地が何處にか前途に橫はれりとの空漠たる意識により、多分は勵まされて苦鬪し或は選擧法案の哀れなる小さき雨樋の口にて每年働らき、或は敎育上の改革の或る粗らき小さき基礎石に形を施こし、或は終に其目的とせられし場所に適合せず、空しく投げ棄てらるゝ運命を有する石をも徒らに磨がき、終に鑿によりて碎き去らるゝ兩性間の關係に於ける或る改革の石を出だす爲め、彼等自らの生命をさへ刻み去り數多の失敗の後何等か成功する事あるも、其餘りに微賤にして且つ蔭に潛み居るが爲め、誰れも甞て之れを見しものなきが如き等、總て是等の婦人には中途にて疲勞せずして働き續くる事は頗る困難なる事ならん、然りと雖も是等の數限りなき勞働者の働きにより、各人共彼れ自らの狹き範圍に於て、彼れ自らの小さき望を持ちて働き、而かも限りなき失敗及び不結果の內より取り廣げられ、且つ美はしく飾られし婦人の新らしき生活に對する關係が（若し軈がて來たるとすれば）終に起らざるを得ざるなり。
斯く修辭の最高點に達したる女史は、左の比喩を以つて一と先づ其論旨を結べり。
海茅燕（タコノマクラ）が傾斜せる巖の下より其頂上に登らんとして、其處に橫はり居る時、誰か自働力なきが如き其一塊が苟にも其頂上に登り得るの手段ありと思ふ者あらん哉、然れども凝視せよ、其下方に外觀より隱れたる無數の微細なる觸鬚ありて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

意志の刺戟が中樞神經より發して全身體に波及するや否や、毛髪に均しき微細なる纖維が靜かに擴大して最も近き粗き巖の微細なる破片に取り付き、今は其掌握を滑らし次ぎには確く之れを握り、斯くして靜かに又靜かに遲緩なる全身體も終に頂上に迄達するに至るなり。

前陳の如き抱負と目的を以つて起り頻りに新らしき境遇に順應せん爲め努力し居る婦人を、只に奇說の下に肉の開放を欲し放縱の生活を營まんと企つもの丶如く思ひ、或は漫に社會の秩序を亂だす怪異なる前代未聞の一團の如く考へ、一概に「新らしき婦人」の名稱の下に輕々しく之れを嘲笑し去らんとするものあるは目下の狀態なり、女史は其批評に對し憤然として其立場を辯じて曰く、

予等は「新らしき婦人」にあらず、今日此運動に卒先し居る予等は二千年前男子と共に歐羅巴の森林沼澤を開拓進行せし古き〱チユートン婦人に屬するものなり、彼等はシンブリ人と共に以太利に進み、フランク人と共にライン河を渡り、ブアラチアン人と羅馬に、アラマニア人と瑞西に入りしものなり。其女僧は獨逸の深林に其祠堂を設け、以つて平和にも戰爭にも託宣を下したり、予等の血管には決して賣買せられざりし女性の血液が流れ居れり、此女性は覆面もせず、又纒足もせざりき、彼等の婚姻の理想は兩性の伴侶義務と勞働の平等なりき、彼等は平和にも戰爭にも男子と相提携し、而して嬰兒が生る丶に當りては彼等の懷ろにて之れを成人する迄哺育せしのみならず、其未だ胎內にありし時にも彼等の上には勇敢なる心臟は其鼓動をなせしなり……。

予等は恐れを知らず、又死さへも恐れざる偉大なる生涯を送り、且つ偉大なる希望を持ちたる昔の女性の種族に屬するものなり。不幸にして今日予等の裡の或る者が、多少の墮落をなせし事あるも、尙ほ予等には古き血の鼓動は響き居るなり、予等の今日男子と共に立つ所は物質的戰場にあらず、又予等の嚮導する所は外形の森林沼澤にあらずとするも、予等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の裡にヨリ深く且つヨリ鋭敏に震動する古き精神は二千年の歳月の爲めに曇らざるなり、予等の叫びは古き自由なる北方婦人の叫びなり、今日總て予等が立つ戰場は試驗室工作場、會議室、書齋、議事堂、市場、及び政爭場なり、予等は今日刀劍の代りに筆を以つて戰ひ、手腕にあらずして腦力により爭ふなり、古昔の羅馬の著者が予等の古き北方婦人の事に付き書き遺せし如く、予等は戰爭に於ては男子と共に戰ひ、平和に於ては彼等と共に苦しみを同ふするものなり。

斯く辯じ來りし女史は、更に進んで女史が其炎々として燃ゆるが如き胸裡に懷抱せる豪邁なる識見と、雄大なる抱負を女史特有の感慨に滿ちたる語調にて述べて曰く、

古き著者の予等に書き遺せし婦人が跣足の儘白衣を纏ひて彼等北方の軍勢を以太利に永き進行の間に嚮導せしは、彼等民衆を溫暖にして豐穰なる邦土に導びくの觀念によりて勵まされたればなり、而して今日予等は物質的の光よりも高尚なる光に浴し、又肉體の手が握るよりも豐富なる果實に滿ちたる邦土を認め得たると信ずればなり、予等の後には予等の種族或は民衆によりて組織せられたるよりも、ヨリ長き行列の續き來るを信ずるなり、予等の後に聞ゆる足音は全地球の婦人が其胎內に全人類を支へつゝ隨ひ來る足音なり、今日予等が歩み行く途は未だ明かに識別す可からざるも、人類の子孫がヨリ高き調和と一致に進む可き最も廣き且つ直ぐなる途たるを予等は信ずるなり、今日予等が攬ゐぐる旗は新らしきものにあらず、二千年の昔歐羅巴の森林の上に飜がへりし古き自由なる一夫一婦の制度の下に日々勞働せし婦人の旗なり、予等は之れを支持し行くなり、予等の後に隨ふものも之れを支持して又其後に來る後世の者に之れを傳ふるなり、斯くして世界の總ての民が之れを見能ふ迄に高く之れを樹立し、人類中の最も低き種族の婦人も其下に集まり、一人の嬰兒も其蔭以外に生れざる時機の速かに來らん事を熱望

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して已まざるなり。

予等は「新らしき婦人」にあらず、若し諸君にして眞に予等を了解せんと欲せば、二千年の昔に溯り以つて予等の血統を調査せられよ、予等の系統は予等の説明なり、予等は予等の祖母の孫女なるが如く、又予等の父祖の孫女なり、予等の夢の裡には、予等は尙ほ予等の父祖が戰爭開始の前に彼等の楯を互に打ち鳴らして「自由」の叫びを擧ぐる其音を聞くなり、予等の夢に之れを聞き、目醒めて後予等は之れを已が唇より發するなり、予等は是等父祖の孫女なり。

是れにて女史の論旨は全く盡されしも、最後に論者ありて左記の如き質問を發せられざるにあらず、則はち「君等の云ふ所一理なきにあらざれども、世間の廣ろき種々なる尤もらしき議論の下に、更に多くの我儘を働き、或はヨリ多く有利に樂しみ多き寄生的生活を送らんと欲するにあらずや、「勞働」と稱する美名の下に、實は放縱の生活を營まんと欲するにあらずや智的の訓練をなし或は勞働の新らしき道を柘らくは單に之れを以つて男子と共に自らを廣告し、或は寄生的成功を遂げんと欲する手段となさんとするものにあらずやと、至極尤もなる質問なり、然ども羊の群れの内に狼が羊の皮を被りて交ぢり居るが如く古代の婦人が他の婦人と共同生活を爲せる時、薪を森林に集に行き其内に草を入れて薪と見せしめしが如く昔戰ひに出で其楯を放棄して打ち伏し戰ひ終りし後起つて掠奪を擅にせしものありしが如く、何れの軍隊にも信用ある兵卒以外に其軍隊に從ひ行き機を見て既に死に倒れたる敵を左右に侵伐射擊して戰功を誇るものあるが如く、又キリストの晩餐には十二人の使徒の内にユダの如き裏切者ありしが如く、如何なる社會的政治的及び智的運動にも裏切者はあり、然れども其運動は瞬時も進みて止まざるなり。故に女史は何等杞憂する所なく無限の希望に滿ちて左の數言を以つて本章を結びたり。

賣淫婦の其顔上に化粧を施こす如く又同じ目的を以つて男女を問はず政治的社會的智的及び慈善的勞働を其面上に飾るものあり、然れども彼等が終に婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の緊要にして誠實なる運動の進行を妨ぐる事能はざるは、恰かも大河の水面に漂流しつゝある材木が、終に其水の滔々として洋々たる大海に注ぐを防せぐ能はざるが如し。

ニコ〱小供大會

十月十二日正午より、芝の紅葉館にて、ニコニコ倶樂部發起の小供大會が開かれました。私も長女雪子をつれて參りました。大變な盛會でした。其の日は診査の結果が發表されませんでしたが、其後發起の方から伺ひますに、何れも自信のある御小供さんをつれて來られたのであらうが、嚴密に診査すると、各部平均して發達して居る小供は少ないもので、零點だの、マイナスだの、點を得たものも多くあつたとのことです。私の所の雪子は隨分健康な小供ですが、ソレでも二點であつた相うです。歸つて來て話しましたら『メツメ二點落第點だなあ』と云つて長男がいぢめました。小供は健康診斷など受けるのを嫌ふものですがこんな場合には喜んで、診て貰ふ事が出來て面白い有益な催だと思ひます。(ふみ子)

田中正造翁の最後と夫人

今日までの所、私が精神的に一番御世話になつたのは、田中翁であるが、私が田中翁より十年間に得た所のものよりか、其の最後の病床に侍すること三十日間に得た所のものは、大なるものであつた。殊に其の最後の三時間は偉大なるものであつた。病が精神に勝つたと見ゆる時には顔の色も惡く、皺も見へるが、精神が病に勝つと顔の色が非常によくなつて來て面上一つの皺も見えなんだ。全く光明赫灼たるものであつた。死の瞬間には之れが一層見事で、實に光り輝く様であつた。私は之れを見て、死を悲しむなどと云ふことは、トテも出來なんだ。死の莊嚴を讃美せざるを得なかつた。

○

田中翁の夫人は、十年間里へ預けられたまゝで居たが翁に向て一言半句の不平も云はなんだ婦人であるが三十日間、夫の最後の病床に侍して、一日も不愉快な顔を見せなんだ。實によく食ひ、よく眠り、又よく看護された。他の人々は田中翁が藥を飲まぬので騷がれたが夫人は田中さんの心を一番よく了解して居て少しも騷がなんだ。私は之れまで夫人を知らなんだが三十日間一所に居て見て實に夫人には感心して了つた。(木下尚江氏談)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○○○兄に

座古愛子

親愛なる○○○兄。

あなたが海濱の、風景絶佳な、そして閑靜な、運動も讀書も十分出來る。世の煩ひも犯さない。播州二見の別莊守りといふ、あなたには理想的なお仕事から離れて、この煤煙と、塵埃との朦々と立ち迷ふて、天日も爲に影黑く、人は左往右往に、パンを得るが爲鶉の目鷹の目に、狂奔してゐるともいふ可き神戶の巷頭にお立ちなされた事、實に同情に堪へない次第であります。然も病弱な御身を以つて、あなたもパンを得る爲に、彼れ等と生存競爭をせねばならぬといふに至つては、何んとも申しやうなきお傷はしさに存じ上げます

而已ならず、承けたまはりますれば、地方では中流以上の御家庭に御生長遊ばし、格別な御不自由もなさらずお居でになつたのださうなあなたが、事情の爲とはいひながら、最早や中年の御身して、空拳もて、然も臍の緒切つて始めての、慣れぬ御商法なさらうとは實に推察に餘ります事で御座います。

如何に時世時節で、屋形船にも大根積む事はありましても、昨日までは暖き御家庭の若旦那様が、今日は孤影蕭然、旅の巷の露店に、お顏を曝します事、餘りに淺猿しい變はり方、零落れ方と、遂ホロリともするのであります。

天道是耶非耶の嘆聲など、恁かる時にもお發しになるあなたではありますまいが、多くの人は恁かる時に、或は厭世遯遁の情を起こし或は自暴自棄し、或はレールに横たはり、ブランコしたり、土左衞門になつたりするのであります。

で私は、是非あなたに一言申し上げたい事があるのであります。孔子様は、「身體髮膚受二之父母一不二敢毀傷一孝之始也」。と申してゐられます。誠に善う仰せられました御敎訓でして、御濃情なあなたが故郷の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御老親樣を思ひ浮かべます時に、必ず御報恩の情を湧き起こされ、御孝養遊ばされやうとの志しをお立ての事と存じますから、上述の如き杞憂は、萬御座いますまいが、卒直に一言申し上げた次第で御座います。

更に保羅は、「汝等は神の殿也」。と申してゐられます。縦令へ露店に顔を曝しませうとも、あなたのお體は神の殿であります。あなたは神の子であります。決してその尊厳を、お傷付けなすつては可けません。御自重、御自愛なすつて下さい。

孔子樣は更に、「立レ身行レ道揚ニ名於後世一以顯ニ父母一孝之終也」。と申しました。ヱリや商賣は農業のやうに正直の仕事では御座いますまい。けれど忠實に、薄利以つて公衆の利便を計りますならば、強ち罪惡な仕事とばかりも申せますまい。そしての間から着々と利を占められまして、生活の基礎も確固となり、安立の道が立ちましたならば、身を立てた事ともなりまして、自然孝の終はりとなる事と存じ上げます

けれど唯身を立てたばかりでは、可けないと思ひます。孔子樣も次ぎに、「道を行ひ」と、仰つしやつてあります。道とは何んでせうか。私は基督教でいひますならば愛、佛教でいひますならば慈悲、儒教でいひますならば仁。それだと思ひます。それを行はないならば、折角の富みも、何んの効もない事と存じます。否

寧ろ社會に、害毒を流すのみの事と存じます、滔々たる今日の謂ふ所富豪なるものが、皆それであります。この事は屹度心得置く可き條件と存じます。

恬く身を立て、道を行ひますならば、自然世人よりの信望を博し、景仰を來たし、求めずして芳名を竹帛に垂れる事ともなるのであります。けれどこの芳名竹帛は、最初の野心であつてはなりません。自然の結果でなくてはならぬと思ひます。

運命があなたに厚くあつて、若しこの理想通りになりましたならば、それこそ孝の終はりで、あなたの生存の意義が、茲に全うせられたと申す可きであります。

闇の夜の裡に、曉の光明は胎まれてゐるのであります。涙の谷から眼を擧げますれば、希望の花園は美しく輝いてゐる筈です。「昔從うい ふ句があります。「辛抱せい、牡丹も菰着て冬籠もり」。一陽來復の時は近づきつゝあるのであります。決して御失望なさらないやうに願ひます。

現下のあなたの御境遇の、餘りにお痛はしさに、右お慰め、お勵みにもと存じまして、諄々と申しました妄言誠に多罪であります。(この書信も、例により晩菫氏を煩はしました)(十月六日朝)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

昔の爐開き

今の行火開き扱てまたストーブ開き
時世時節で品こそ變れいつも變らぬは

秋から冬に掛けて
婦人の身體を冷さぬ用心

げに寒氣と冷氣は一般婦人の讐にして
冷え込みは往々婦人諸病の原因となる
されば冷込み豫防にお氣附の
方は行火や火鉢に安心せずに
婦人良藥 **中將湯** 召して
お腹の中から溫め置くが
一層肝腎

中將湯は子宮血の道より起る左の諸症を治す

●子宮病 ●婦人神經 ●逆上頭痛 ●夜眠れず ●膣加答兒 ●下腹痛み ●產前產後 ●難產流產 ●月經滯り

●血の道 ●氣ふさぎ ●癇高ぶり ●內膜炎 ●こしけ ●腰足冷込 ●つはり ●月經痛み ◎血ぶとり

定價

四日分	三拾五錢
一週間分	六拾錢
二週間分	壹圓拾錢
三週間分	壹圓六拾錢
五週間分	貳圓五拾錢
十週間分	四圓五拾錢

本舖

東京日本橋通四丁目
津村順天堂本店
振替口座六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町
津村順天堂支店
振替口座四五六番

『東京朝日』記者 杉村楚人冠先生新著

ひとみの旅

三六判美本 定價六十錢 郵稅八錢

長い足、鋭い眼、明な頭、太いペン、而して此書成る。しかも山水の景を描かず、風月の景を語らず、專ら現代を寫し、人間を論ず。曾て、洛陽の紙價を貴からしめたる『大英遊記』以來の名文にして、又曾て、發賣禁止の嚴命を蒙りたる『七花八裂』以來の奇著なり。

ベークマン原著 杉村縱橫先生譯補

改訂增補

強肺術

好評二十版 定價四十錢 郵稅六錢

肺病を恐るるものは讀め、肺病に罹れるものは讀め、歐米に於ける最新式の體力養成法を讀め、此書に六の特色あり。

第一、時間を要せざること。第二、費用を要せざること。第三、場所を要せざること。
第四、勞力を要せざること。第五、言文一致なること。第六、總ふり假名付なること。

故に男子は勿論、婦女小兒と雖も、容易に理解し容易に實行し、而して確實に其功を收め得べし。

東京小石川原町 貯東京一五六八六 丙午出版社　東京小石川原町 貯東京一三五三 鷄聲堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

立憲青年黨機關

世界之日本

巨人の如き態度と獅子の如き勇猛心と青海波の如き情藻と

一年分税共一圓二十錢 ■◆十一月號◆■ 定價税共十一錢 半年分税共六十錢

◉元田遞信大臣と電燈問題を語る

▼五千萬圓減税せよ選舉權擴張せよ　幹事 長橋重兵衛

■茅原華山に與ふる書　幹事長 橋本徹馬

□第二維新とは何ぞや　博士 浮田和民

■耶蘇の雄辯　教授 永井柳太郎

□排日問題に關する英米の論爭　幹事 長橋重兵衛

◉政界の暗雲と光明的活動　記者 坂本正雄

◉敢て滿天下の同志を求む　社說

▼大風起り雲飛揚す

▼青年諸君悉く我黨に來れ

◉頭山滿氏と語る　幹事長 橋本徹馬

■策士の看板は當分願下げ　新政黨代議士 木下謙次郎

□政友會の前途　代議士 日[illegible] 田邊熊一

■青年諸君と託鉢僧　貿易商 日下吉平

□罵倒に非ず希望を述べたる也　高橋秀臣

▼日本最初の女流民權家中島湘烟女史　舊自由黨員 倉長恕

◉桂公歿後の新政黨　男爵 後藤新平

□世界の大勢　一記者

■政界近情　本誌記者

□逸話奇聞　風聞子手記

衆議院議員年齡一覽表

■西行法師(其二)　帝國貯蓄銀行專務 關谷眞可彌

■嗚呼下山利春君　橋本徹馬

■安積山の麓原より　秋火生

□濤のひゞき　大河

■乃木坂にて　正雄

□少年の歌　峯雪

■秋の林に　虹次

■慶應辯論部　霹靂火

□傍若無人錄　嘯濤生

■社會日誌　一記者

□社會顧問　一記者

神田區西紅梅町
世界之日本社
振替 二六八六

常備せよホシ小兒專門藥

●小兒の體質と大人のそれとは違ふから藥も大人と小兒とは區別しなければならぬ

●政府の報告を見よ、小兒は一番病氣に罹り易い又死亡率も一番多いではないか

●然るに是迄完全なる小兒專門藥のなきは政府の民間も共に遺憾とする所である

●賣藥改良の魁たる星製藥株式會社は茲に率先して六種の小兒專門藥を發賣するに至つた

●**ホシ**の**クスリ**は能く効く、**クスリ**は**ホシ**に限るとの公評あり、世の親達よ明日と云はず本日直ちに之を求めて愛子の健全を計られよ

各美罐入一個十錢、六種箱入六十錢、各病原療法、藥用法、注意事項等を說明せる小兒醫書を添ふ

各特約店及市內有名藥店にあり

東京市麴町區有樂町三丁目一番地

改築中假事務所

星製藥株式會社

電話新橋二二三三番、振替東京二〇五二二番

離婚せる友に與ふ

小口みち子

「今更に何のための結婚かと聞く人には涙も出でぬ程の思ひいたし候、一人の男と三人の子に同情をして………………」

と云ふ貴女のお手紙を頂いた其當初に於て既に貴女の今日あることを私は豫知して居りました。友よこんな意味に於て私は貴女以上に貴女を知つて居た一人で在つたことを知つて下さい。

三十を越した年と云ふことが、又は貴女の周圍の樣樣の情實が、貴女を盲にして終つた、忽然として人の後妻となり一夜にして三人の子の母となる。貴女のお身に取つては餘りにもそれは驚くにたえたる一つの奇蹟でありました。

見ず知らずの赤の他人に同情をして、自己の後半生を犧牲にしやうとする、貴女の御心は尊むべき物ではありますが、而もそれが悲しむべき今日の結果を見ると云ふのは何と云ふ悼ましい現象でありませう。

友よ貴女は自分の身を悲しみ又憐れみ慨くべき謂れは少しもありません、貴女は現代の女として優勝の地位に立つべき尊ぶべき一個の女性でありました。

小さい時から常に奮闘を續けて倦まず弛まず孜々として働いて來られた男々しい女性でありました。

三十になつても處女の純潔を保つて、嘗て心靈の上にも一點の汚辱をだもうけなかつた尊い〳〵方でありました。それである故に私は殊更に痛切に感じました。

世間在來の有りがたくも何ともない「同情の犧牲」になり手は自然他に恰好な人がいく人も必ずあつたに相違ありません、其任に非らざる貴女を煩はす迄もなく若き未亡人にても、再婚者にても、又は生存競爭場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理の弱者である此所を外しては行き所のないと云ふやうな女にても、行けば行くべき處であつたのでした。世の處女の純潔な貴女には今少し貴女に適當した方を配したかつた。

そうして歩調は同じくして、相助け相慰め合つて此險しい人世の山越えを　て貰ひたかつた。家庭内の様々の係累や面倒な煩事を一々處理して行くと云ふやうな方面には貴女は元々不向きの方でありました。

竈の前よりも机の前、庖丁よりもペンの方が直接貴女の身には意義の深い物になつて居たに違ひないと私はおもひます、そう云ふ方面の人を家庭的の婦人にするのには

順序として、處女より人妻に、人妻より一人の子の母に、次に二人の子の三人の子の母となつてこそ初めて、母としての母らしい味も出來、覺悟も生じて來ると云ふことを私は常に先輩から致へられて感心をして居たのでしたが、

長い貴女の處女生活の中に、貴女の理想と略合致した人の一人や二人に邂逅しないでは恐らくないことはなかつたでありませう。

必ずあつたに相違ありません、それを貴女は目を閉ぢ耳を覆ふて、恰も恐ろしいことのやうに我れと自らを叱り通しに欺いて今日に至つたと云ふことを、否と否定なさるだけの信念がおありになりますか貴女を私は信じて居る故に、猥りに一生を棒に振るやうなことをなさる方でないことを知つて居る故に餘計に私はそう思ふのです。

元々親任せ人任せと云ふやうな結婚法に默從して一生辛抱のし通しと云ふ、それが甘んじてなしえられる人々こそ、自己の存在を無視したやうな、屈辱的、犠牲的、同情的の結婚もなしえられた物ですが、多少自分に一定した人世観や處世観も持つて居る、齢も地位も成熟し確定して居る人として、親任せ人任せの結婚をすると云ふことは餘りに自己に對して無責任過ぎると思ふのですが、貴女のお考は如何でせう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

結婚は正に人世幸不幸の岐路の第一の關門であると私は常に云つて居ります此門をくゞるのは自分自身であり。これによりて來る幸不幸は正に自分自身の頭上に落下し來るのであります、それを人任せにして自分は懐手をして、此關門をくゞるのは冒險と云へば一種の冒險でありますが、私共はかゝる無謀なる勇者となることを不名譽と致したいと思ふのです。

「戀愛が生じなければ結婚をしてはならぬ」と云ふ、其處迄の主張は今の場合一寸私は憚りますが、有體に云へば夫れが自然の順序であつて、一番危險の少ない安全な方法であると云ふだけの信念は自分では持つて居ります、然しこれはもつと考へて見なければならないと、實は貴女の今度のことに就いて私は又新らしく其方面の事をいろ〳〵と調べたり又人の意見を聞いて見たりして居るのです。

結婚の申込を受けてそれを斷ることが大して恐ろしく氣の毒な又耻かしいことでもなく、結婚の目的のために男女が自由に交際して、其間に選擇をすると云ふことも、これが普通の最良の手段と思つて居ります私共の間では、貴女がお聞きになればびつくらなさるやうな、突拍子もない思切つたことをしたりしても、それが大した間違ひにもならず、相互に自重して、圓滿なる解決を見るやうな生きた例證がいくつも〳〵轉がつて居りまして、此度の貴女の御不幸に就いては、眞に御同情にたえませんが、決して御心配には及びませぬ、貴女の御生涯はまだ長い、もつと貴女に適當したもつと生きた意義のある「此人ならば」と思ふやうな人が必ず何處かにあるに相違ない、其方も何處かで、自分の片破れを求めて居られるに違ひない、私はかう云ふ直覺を貴女の上に持つて居る。

外から持つて來てくつつけたやうな犧牲や同情や、そんな物ではなく、眞に其方に對しての貴女の同情が愛情であり。(或ひは戀愛であつてもよい純乎として純なる愛でさへあれば)二人の心が緋と結び合ふことさへ出來たなら、三人の子は愚か十人の繼しい子供があつても又外にどんな事情が潜んで居てもそんなことは何でもなかつたかも知れません、どんな辛抱でも喜んで出來たかも知れませぬこれだけのことを終りに申して置きます、妄言の罪眞に深し許させ給へ。

(大正二、一〇、九夜)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

結婚の沿革

高橋達子

往時人文の進化しない時代に於ては、人倫の大本道德の泉源であるべき、夫婦關係の生ずる結婚といふ事は、實に漠然たるものであつた。即結婚に對せる當事者双方の明確なる意識信念、自覺はおろか他覺も何もあつたものでなく、從つて一夫一婦の別はない、石玉混淆の頗る亂雜な狀態であつて、申さば共同婚といつた有樣を呈して居たのであつた。

であるから誰の細君だか、某の妻女やらさつぱり見當がつかぬ。貞操も何も本よりあろう筈はなく、今日より見れば卑む可き驚く可き社會の有樣であつた、ところがやうやく進んで來て、彼の掠奪婚といふ風習になつた。

其例を擧ぐれば、隣村の五郎作の娘にお花といふ別嬪が居る、彼女を一つ掠つて來たいものだ、といふ考へを以つてたへず其女を注目して居る、娘が外出して今彼の森陰を通つて居るとしつたが最後百年目、得たりかしこしで驅け出して、肩に引擔いで歸るといふ亂暴千萬な事をやる。

然し娘の方でも之れを宿世の緣とあきらめて平氣で以て令夫人をきめこむといつた有樣であつた。

當今でも奥羽地方の田舍へ行くと、年々一度の盆踊りの時には青年男女が青春の血を沸騰させながら、風習的に踊り子に出る而も彼の娘をと前以て見込み付けて居る若者は、機會を見て娘の手を引て逃げ歸る、彼等に取つては少しも不自然でないばかりか、出雲の神樣の仰せごとだとよろこんで、改めて黄道吉日を選んで祝儀を取り行ふ風習があるとの事である。

萬一にも娘一人に婿八人といつた風に、引手數多の

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

有樣であると、腕力の勝れた敏活なる働きによりて、娘を連れ出した者が卽中原の鹿を射留めたわけになるのである。

それだから踊りの最中に燈火を消すと、其時の騷ぎつたらない、實に修羅の巷を現出するのだといふ事である。

共同結婚から掠奪婚と進んで來た人間社會の凡てが順次進歩するに連れて、次に現れて來たのが賣買婚であつた。

無論今日の社會といへども、或一部の社會では實際的に此賣買婚が行なはれて居るのだから全く以て片腹痛いと申さねばならぬのである。

支那といふ國は昔から妻を娶るのでなくて、妻を買つて來るのである、東洋諸國の女が頭の上らない習俗的の慣性もこんな點にあるのではあるまいか？。淺間しい事といはねばならぬ。

今日一般に婚約上の儀式として行ふところの結納なるものは、蓋し此賣買結婚の遺風だといふ事である。

追々と進で今度は贈與婚と云ふ形式が現はれて來た尤女子を一個の人權あるものとして一般に認めない時代であるから、矢張り物として扱はれたのであろうと思はれる。

我國の戰國時代には專ら政略的の方便といふ意味が大分に含まれて居たのであつて彼の歌舞伎芝居などによくある例で、娘は父の命に依りて嫁に行く事に内定する然るに行く家の夫と父はやがて敵味方に別れてしまふ、實家の父から密使が來て、夫の寢首を持つて歸れ、然らずんば七世迄の勘當だ、などゝ乘引ならぬ釘を打つ。

父の言を守れば貞たらず、夫に從へば孝の道立たず時代精神に囚はれて居る姬君はあはれ自ら白刄に伏して以て、春未だ淺い海棠を散らした例は少なくない。

八重垣姬や鎌倉三代記の時姬は正に此問題中の人である、因習とは申ながら婦人が如何に其人格を無視されて居たか、虐待されて然も之れに反抗し得ずして送つた幾春秋、ずい分今から考へて見ると寒心に堪へぬ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のである。然しながら此政略的結婚を現代の社會も皆尤として、引展して見たならばどんな現象が寫るであろうか。

文明式野心的結婚とでも命名して其裏面を覗いて見たならばより以上に惡辣な手段、汚れたものがうようよとして居るに違ひないのであろうと思はれる。

自家の榮達を謀らん其爲めに上長官の令孃と結婚する、名譽心の衝動に打勝つ事が出來なくて、故山では赤い誠を以て成業の曉を樂しみ待つて居る無垢の乙女を振り捨て、精神的に致命症を與へ、誇りに誇つた七面鳥の樣な香水くさい御婦人と自働車に同乘して朝に三越を訪ひ夕に帝劇に向ふといつた風な男子もざらにころがつて居るのは、確かな事實だといふ、小糠三合持つた男子なら養子に行くなと戒めた、昔の青年の意氣は文明の取り違へ、開化のはき違へに依つて、軟化してしまつたのか、さりとは心細い限りではないか、たゞに結婚に就ての考へは男子ばかりの罪では無論ないので、醒めざる婦人泥人形として扱はれても何等痛痒を感じない的の女性も亦大に覺醒しなくては駄目である。

幼少な時からの希望であつた、外交官夫人になれないから、茲で女優になつて自から交際場裡の花形になろうと決意した、と公言して居る女優もあるではないか。

パニチーの權化とでもいふより外はあるまいと思ふ此人々は別として、眞に婦人として人としての生涯を或點迄全うしたいと思ふ人は、こんな浮草の樣な考へに憧憬れて居ては駄目である、自働車に乘り度くば精神先づ明かに、自分といふものを動かす力を養はねばならぬ。

結婚、結婚、實に未婚の人には如何なるサウンドを與へる問題であろう。然し決してこれは夢でなく實際なのである。空中樓閣でなく現實の問題であつて、而も人生の眞意である以上は、出來るだけ研究して幾多の同性がこれによりてまつた人生の樂園、現今上中流を通じて滔々として流れて居る濁流。

之等は何れも結婚問題によつて解決される點も少なくないと思はれる。

それで昔時に於て行はれた、結婚法を先づ、歴史的に取り調べてこれから如何なる結婚が理想であるか。

理想的結婚を爲し得る男女の努む可き修養等を研究したいと思ふのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産褥

Hさんから夕ぐれに使が來た。『他に廻はりますから御返事はいりません』と云つて歸つた。ニコ〳〵して居たからおめでたかつたのだなと直覺された。

手紙には『とう〳〵産れて了ひましたので會の事など考へられなくなりました』とかいてあつた。

まだ二三日前の集會日にお一人であつたHさんが、小さい赤ちやんと二人になられたのかとをかしく思つた。

忙がしかつた爲めに二日程たつてお悦びに行つて見ると、七日目の赤ちやんはモーふつくりと肉づいてお鼻の高い、丸眉のハッキリしたお顏になつてスヤ〳〵と眠むつて居られる又美人が一人殖えたわけだなと思はれた。

お母さんもさえ〴〵しいつやゝかなお顏色をして座つてゐられた。

「モーお座りになつてよろしいのですか」

「えゝモー何ともないのですよ、産褥に居るのはいゝが、讀まれないのと書かれないのとが一番つらいのです、いつもかまはないで讀んだのですが、覿面ですから恐ろしいのです、いつかも産後に眼をつかひましたら霞んで何も見えなくなりましたの」

「直ぐにお分りにならなくても、お早くから眼鏡が入る樣になります、マア五十日は針や筆はおつゝしみになりませんでは」と四十あまりの凛とした産婆さんは云つた。私は自分の初めてのお産の時がしみ〴〵思ひ出されて

「幾人産れても赤ん坊を見ると、初めての赤ん坊を思ひ出しはいたしませんか」

と云つた、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初めての時の甚しい不安な心地や、人並に人間らしいものが産れるかどうかと氣支はれてならなかつた事、今迄無かつた物がヒヨックリ側に寢て居て、それが人並の赤ん坊である事を自覺した時のうれしい感を互に語り合つた。

それが何番目の出産の時にも呼び起される感じである。

こんな事を語りながらも私は出産の苦しみを恐ろしく思つた。

『マアようご座いましたのね、産まれて了つて、ほんとうに苦しいのですわね』と云ひながら、いくら安産だつたと云つても、本人のその瞬間のこらへられない苦痛、今思つてもゾッとする、身震をせずには居られないと思つた。

『えゝこればかりは本當にいくら苦しくても引くに引かれませんわね、何でも産み出して了はなくては、だから困難な事を産み出すと云ふのでしやう、お産の苦しみをするつもりなら、どんな事でも出來ますわ、新眞婦人なども皆がお産するつもりで、それ丈け眞劍になれば屹度ものになりますわ』

『お産の時は何處でも女がヒーローですわね』

『これが生命を産み出して貰ふのだと思ふからでしやう、つまり、苦しみの責任を全く女一人で負つて立つからですわね、生命を産み出して上げるのですもの、この精神さへあればどんな男子でも婦人を馬鹿にしたりなんぞ出來ませんわ、石女はこれ丈の苦痛と貢獻を何かでしなければならぬと思ふから、煩悶するのですよ。子供を産まなくてもこれ丈の事は、何かで與へなければなりません、婦人がなければ、慰藉されないとか。婦人の力を借らねば事業が出來ないとか、其の天職を盡さないものは屹度煩悶するのでしやう。受くるより與ふるは幸ですからね。』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『本當に可笑しい樣ですのね、お產の時ばかりはどこでも男は小さくなつて居ますのね』
『大威張でゐたつてもよささうですけれど、誰れも賴まないのにハラ〳〵して心配して居るでしやう、これが不知不識感謝の意を表はしてゐるのでしやう』
こんな事を語りながら私は自分の初めての出產の時の取込みを目のあたりに思ひだした一夜苦しみ通しに苦しんで居る自分を、別室でどうなる事かと思つて居たと、よく後になつてから夫はいつて居た。十一月の初めでモー寒いのに湯タンポの用意もなくて、あわてゝ買いに行つたり、醫師に走つたり、產婆さんを呼んだり引くり返へる騷ぎをした。全く出產は笑談では出來ない。
二番目三番目も輕いと云つても、中途でモーやめやうかとグッタリとする位苦しかつた、いつでもお產をする時ばかりはモー二度と產むまいと思つた事を思ひ出した。
『マアよう御座いますわね、モー食べものもおいしくなるばかりだし、樂しみがふえるばかりですから』と又しても私は安度の意を洩した。
『後腹の痛みがひどくてころがり步く位でしたが、モーよくなりました』と全くかゞやいて
『これも苦しみに對する報酬ですね、こんな愉快も子持たぬ人にはわかりませんわね』
『忘れた頃に赤ん坊がヒヨックリ出て來るのは、一家に取つての革命で、日常生活に一變化を起させていゝですね、暫らく見ない赤ん坊の顏を見るのはうれしいもので』
『常に婦人が男子より眞面目なのも、つまりこんな苦しい思をして、人生の深刻な深味に觸るからでしやうね』
『何が苦しいッてこんな苦しい事は又とありませんのね』二人はかはる〳〵苦しみの追懷に耽つた。小さいお子さんからだん〳〵三人ばかり學校から只今と云つて歸つて來られた。
これまで理想だとか、雜誌だとか、主張だとか議論ばかり云つて居た私は、今日は全く家庭のお客樣らしい氣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

分がした。

Hさんは『家庭にごた〳〵があれば、私なんかなら、モー何事も手につかないで、それに沒頭して了ふだらうと思はれます、ソウ思へば、家庭問題や婦人問題も冷靜に議論して居る處ではない。婦人の爲めに盡さねばならぬ事がころがつて居ます、從前から考へてゐる繼母論もまとめて見たいと思ふ。世の中によい繼父はあるが、繼母は惡いものに限られてゐる、子供の教育からして變へなければいけないと思ふ、私なども繼母になつたら隨分意地惡い繼母かも知れない』などゝそれからそれへと話がはづんで産後一週間の人とも思へぬ元氣で語られた。

其間に赤ちやんは衡にかけられて、お湯をつかはせられて又すや〳〵眠に入られた。

産婆さんはぬぎかへた衣服の目方を量つて、産褥日誌をつけたり、ご馳走になつたりして、

『奥さんは元氣すぎますからこゝ一週間ばかりはあまり急に何事も被遊ぬやうに』と云ひ殘して歸られた。

めざめて泣き出された赤ちやんは運んであてがはれた牛乳をさもおいし相にチユツ〳〵と吸ひながら又寢込んで了はれる。

お母さんはこぼれるほど緊張し切つて居る乳房を白い浴衣に包んで、

『私のをやりましやうか』

私はこれを見ても呑み切れぬ乳をコツプにしぼり〳〵しては、土に捨てると出なくなると云ふ土地の迷信から猫の子に呑ませて居た國で産をした時の事を思ひ出して居た。

たゞさへ土地の高い道灌山の何日見ても飽く事を知らぬ眺望、二階から見渡しては又一しほである。灰色に曇つた空の、風のない今日の樣なドンヨリとした日に、直ぐ眞下を鳶が靜かに輪を畫いてゐるのも、市中では見られぬ圖である。

誰かゞHさんの家に行くと將門の比叡山上から見下ろした時の樣な氣分になると云つたのを思ひ出さずにはゐられない。

看護婦が夜のものを運ぶ頃までも話し込んで了つた。（文）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二日の記

十月二日午後二時東京在住の重なる會員の方々へ招待狀を出して置いたが集まつた者は八人、遲刻をする事が尤も嫌ひな自分が尤も遲刻をして「すみません」とお辭儀をしなければならぬのが、面目ないやらおかしいやら。

お書きになつた物を拜見すると慥かに大きなお孃さんをお持ちになつてゐらつしやるにも係らず、何處やら若々しいいつ迄も若くつてゐらつしやる方と云ふ事がよく分る吉川たみ子女史は、聲もお若いお顏つき等も活々としてゐらつしやる、先頃御不幸がお在りになつた方とはどうして思へやう。

「男には何かしら道樂が屹度ある、よいにしろ惡ろいにしろ、それが道樂と云ふ上は妻たる者は隨分困る事が多い、一體それは許してさせた物であらふか、反對をして止めさせた方がよいか」と云ふ問題の提出者が銀婚式もおすみになつたかと思ふ頃の吉川さんだから面白い、結句どん底迄落ちる迄默つてついて行くだけの雅量が欲しいと云ふ意見も出れば、それも程度問題で事實にぶつつかつてゝなければ是非は論ぜられんと云ふやうな事に一致したらしい、いつか有耶無耶で問題の中心が傍へそれて終つて、伊藤朝子女史が娘のやうな若やかなお聲で頻りと夫婦間の愛情のことを隨分と思ひ切つて告白やら疑問やらを提出なさる御風采やら御服裝やらその配合が頗る珍で又これが面白い御自分も一生懸命眞面目なら聞く者も一座の者か皆悉く眞面目なんだから餘計に面白い。あはれ「ショオ」さんがはろ〳〵とイギリスの國から此光景を御らんになつたらなあ——と私は思つた。

伊藤朝子樣、貴女のお手際が余り鮮やか過ぎて皆をお昇ぎ遊ばしたので、一番余計に口數をた、叩いた、私は一番余計に赤面をして一座なすつた當の御本人にどれだけお氣之毒をしたでせう覆水再び盆に歸らず、まゝよと計りそこいらを一面の水だらけにして終つたに就いて、あの方に私は一番余計お詫びをすべき筈になつて居ります、お昇ぎになつた納稅のおつもりで宜しく〳〵お取りなしを御頼み申しますよ。

あの方に尙ほ申します「必ず御決心を遊ばせ」と「新らしい道の御開拓にお勤め遊ばせ」と、及ばずながら何かの御相談のお相手には屹度させて戴きます、お心を強くそうして確りとして御決斷遊ばせと申上て置きます。

「御覽になつてあれを」、「あゝ見ましたよあれを」、「訪問をした當人からが既におちやらかしの氣分で書いて居るのですから、當の御本人には嘸ピリーと御感じになつたでせうね」、「さあどうですか」、「お互ひに時勢に後れて終ふとあんなことを云つて人に笑はれなければなりませんから人事じやありませんわ」、「それから見ると矢島先生には殆んど感服の外ありませんね」、「下田先生もお偉いですね」

「一體何に何が書いて在つたのですか」、「あとから私がお送りしますから御覽なさい」

此上毛虫以上に嫌はれては埋らないからあとはないしよ〳〵。

「私はまだ夢を見て居る」とは美しいあぐりさんのしみ〳〵としての御述懷…………

私なんか起されてさまされて夜着まで剝ぎ取

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

られた組だから、黒岩先生の「夢現境」を強盗のやうに思ふ、さやうみち子私自身が、あぐり女史よ貴女はもつと〳〵夢の世界をお歩きなさい、貴女迄を白晝の大道へ引つ張り出して曝しものにしなければならぬやうな今が時世であるとするならば、寧ろ私は貴女と情死をしてもよいと迄思ふ。

白晝の大道へ出しやばつて突つ立つ事が、果してどれだけの光榮であらふ、「婦人解放の悲劇」が必ず其處に持ち上つて來る事は火を睹るより明らかな事實ではない乎。

大分話題が八釜しくなつて肩がこつて來た、もつと何とかお互ひに考へて見なければならぬお互ひにもつと勉強をしなければならぬ、大分混線をして來た、ありの實の一片を口にして皆がホツと息を入れる。

男の放蕩を苦にする女については、よく〳〵其家庭内の事情を取り撿べて見なければ滅多な事は云はれない、愛人としての眞心が足りないために、又は妻の才能が不足して居るために、或ひは夫の遊蕩心をそゝるやうな不體裁な事だらけのために、多くはさうであると思ふ、全責任を女自身が負ふべきだと、あぐり女史は主張せられる。

御最も至極だ、慙死しなければならぬ筈の人達ちが大分手近にも轉がつて居ますけれども、喧嘩兩成敗と云ふ法則があります、それに從つて審判をするのが至當でありはしますまいか、男計りを責めるよりも、女自身が宜しく反省顧慮すべきです。

然しながら、何の必要もないのに三越を覗いたのが病付きで、虛榮心をそゝられて墮落をする女がゐると同樣に、何の必要も不足も不平も持たないのにつひした動機で惡所へ行つて、行つたが最後 男の本能を暴露して立派な遊蕩兒になつて終ふ。

男にも女にも誠に寒心すべき通弊が影のやうにつき纏つて居るのは爭ふ余地のない事實ですどうしてもこれは打破し矯正しなければなりません。

と云ふ事は皆が殆んど一致しての意見であつた、會の名を何と付けやう、まさか「雨夜の品さため」でもあるまいと云つて皆で笑つた、結句これは宿題として置く事になつて解散をしたのが正に午後五時、町屋住居の身には見られない、八州の野も見えやせむあれが元の淺草たんぼであらふか灯がちらちらとして居た。

こすもすの花のぼつくにばあそろの、水色が行きくりいむが行く

二、一〇、九、夜　　みち子

新刊紹介

▲新道德（浮田和民氏著）　先づ一般論として舊道德の基礎は宗教上の權威及び政治上の權威を恐るることにありしも、新道德の基礎は第一に人格の觀念、第二には智識、第三には藝術と調和したものでなくてはならぬと論じてある。而して進んで細論に入りて、國家に關する新道德、家族に關する新道德、及び實業道德を論じたもので、一ち一ち尤もな論のみである。

私はコウ云ふ思想の普及が今日最も必要であることを信じ、及ばずながら其の方へ力を盡したいと思ふて居る一人である。左に書中の數節を紹介しましよう。

「男は結婚して始めて男らしく、女は結婚して初めて女らしく、其固有の天性を發揮し互に其短所を補ひ、其長所を延ばす事が出來る。されば夫婦の關係は互に方便のみとして利用するでなく、互に目的として相尊敬せんければならぬものである」

「ヘーゲルが『子供に於て母は夫を愛し父は其妻を愛す、子供に於て兩親は各々其愛情を完全に實現す』と謂へるは實に眞相である」

「新道德に於ては、子供は大人になる方便又は材料としてゞなく、子供として人生絕對の價

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

値ある者として之を養育し又教育することを要求するものである」

「他人が泥棒の根性を發するまでは泥棒と思つてはならぬ。矢張人格ある人と思はねばならぬ。若し其人が泥棒をしたらば其時始めて特別の取扱をせねばならぬ。女を見て彼は男子の玩弄物であると思ふのは道德上甚だ間違つた考である、矢張姉又は妹と思はねばならぬ、是が同情と云ふので社交道德の本である」男女共に是非一讀せねばならぬ書である（定價一圓、牛込通寺町十四、南北社發行）

▲**婦人の修養**（加藤咄堂氏著） 日本歴史の中より、婦人修養上の參考ともなるべき逸話一百五十を撰び來たり、幷を裏錦、庭の敎、心の鏡の三編に分ちて編輯し、所々に著者の批評を加へたものである。昔話の一ち一ちが、私共の金科玉條であるとは思へませぬが、併し勿論參考になる點が多い、敢て一讀をおすゝめします（定價卅五錢、東京芝區露月町十八、鴻盟社）

▲**戀の眞理**（意表氏著） 戀と云ふものを之れ丈け筋道立て論じたものは尠ない。私は先づ戀を縱橫無盡に解剖して行く、著者の頭腦の明晰なるに敬服しました。次に細かく各項を讀んで見て何れの點に於ても其の議論の穩健中正なるに敬服しました（定價六十錢、府下早稻田戸塚、地球堂書店）

▲**新佛敎**（十月號） 發賣禁止になりました、久津見さんの『哲聖ニイチエ』の爲めだらうとのことです（本鄕區駒込片町一六、新佛敎徒同志會）

▲**婦人の友**（秋期特別號） 本號では『利根水源の山中に呪はれたる美しき家庭を訪ふ』に一番感心した、癩病にかゝつた妻が、夫に迷惑がかゝるのを氣の毒がりて自殺した顚末の詳細な記事です、私はこれを讀みて泣きました（定價十八錢、小石川區雜司ヶ谷町百十九、婦人の友社）

▲**六合雜誌**（十月號） 小泉八雲臨終の記（小泉節子）、之れが本號の讀物でしよう、『私のうちでは、一寸何でもないやうな事でも、よく皆が興に入りました「今日藪に小さい筍が一つ頭をもたげました、アレ御覽なさい、黃な蝶が飛んで居ます、一雄が蟻の山を見つけました、蛙が戸に上つて來ました、夕燒がして居ます、段々色が美しく變つて行きます」こんな些細な事柄を、私のうちでは大事件のやうに取騷ぎまして一々ヘルンに申します、それを大層喜びまして聞いてくれるのです（一册廿錢、芝三田四國町統一敎會弘道會）

▲**新公論**（十月號） 市場氏の『彷徨へる女の研究』を面白く讀みました、本號は秋期倍號で一册郵稅共四十三錢（小石川原町十三新公論社）

▲**編輯局より** 東西南北全體を、紙面の都合上取られねばならぬこととなりましたので、皆樣方よりの面白き御通信が皆な次號へ廻はることとなりました▲婦人寄生論第三章は、どうか殊に熟讀して下さい

●兒童服の福音

兒達が冬物を汚しますのは、何れの家庭でもお母さん泣かせですが、日本橋三代町八吉田高等洋服店から、發賣になつて居る授業服は、それを防ぐのに最理想的で冬は格別暖かくて宜しい。洗濯をしても變色の憂なく品質堅牢にして價安く、袴の代用ともなり、經濟上からも衞生上からも品位の上からも、確かに實用向で便利調法なものです破れ易く汚れ易いものを着せておいて、やかましく云ふより、これならば思ふ存分自由に遊ばせる事が出來てよろしい。この頃は小學校通いのお子さんが、よく着てゐられます（表紙第四面寫眞參照）

▲**牧田の牛乳** 本鄕駒込林町の牧田牧場にては每月十石づゝ、廿六年間引續いて牛乳を大學病院へ入れてるとのことである此の一事を以てしても牧田の牛乳の善いことか分るが、私共も實際飲んで見て、他に比し著しく濃厚であることを感ずる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

俳句

すみ子選

一等

芒野や落ちなんとして日赤し　福田ゆきよし

二等

つまやかに親子住みけり鳳仙花　澤村園子

三等

石門や夕日けやけき紅葉谷　吉原とみ子

選外

花瓣や菓子も商ふ渡し守　澤村園子
暗き灯を佗しく守る野分かな　同
貢船碇下ろすや雁の聲　片桐くみ子
五所垣や庄屋の藏の壁白し　同
野祠に乞丐さゞめく小春かな　吉波巨子
破れ垣の寂寞りたる零余子哉　同
一枝は塀に凭ろゝ柘榴かな　吉原とみ子
取り殘す葱の坊主や霜柱　藤島露子
秋風や笠を斜の山法師　福田ゆきよし
菊の庵主翁の髯の白きかな　稲葉茂子
雁立つや山寺の僧故買犯　松丸稲子
閉ぢし儘の離れの窓や冬隣　選者

短歌

小口みち子選

一等　京都市東堀川四條下ル　林みね子

絹などをもむがやうにもいつとなく廣き秋野の夜は雨となる

二等　京都市下珠數烏丸東入尾張吉方　藤島露子

物すべて淋しき頃となりにけり、水もなげきて草に泌みゆく

三等　靜岡縣引佐郡宗賀町五昧　長田雪枝

月よ月よ我れなくによし十月の靑ざめし夜はわが泣くによし

選外佳作　林美彌子

夢なりししからざりしか絕え〲に海の鳴る日のそのありし夜よ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しみ／＼と涙ながるゝ暁の白き寝臺の汗にじみかな
夜をこめて網代木になく水とりのひとつひとつに消ゆる哀れさ
一條の煙のごとく夕暮の地平の果に横たはる山

藤島露子

かげろひし青き稲田にひぐらしの聲すみ渡り暮るゝ故郷
瑠璃いろに榾の煙のたゞよへる山の木の間に降る朝の雨
つと起りやがていづくへいづくより遠ざかりゆく松の風かも
心こそ淋しかりけれうす青き楓の花の散れる夕ぐれ

稲田ゆきよし

日に背き陰好みさくくれなゐの花にも似たる悲しき心
ふるさとの秋もかくやと戸によりて涙して見ぬ落つる木の葉を
こゝろよくほの／＼明けし野の果に銀河ながれて風吹く朝は
小雨ふる夜中淋しや戸一重に虫なく聲をひとり聞くかな
なびきふす萩の月ぼそに日は入りて名殘りわびしく寺の鐘なる

藤井夕子

紀州／＼紀州はこひしわが戀ふるかの若人の往みけるところ
われやみてかくて悲しき日を送る半日は起き半日はれて

小川碧水

よるべなき心一つをすかしつゝ夜な／＼書けり悲しきうたを

松丸稲子

かさ／＼と風なる山路踏みゆけば腐れ茸に足辷らせぬ

矢萩露子

頬なづる花野の風に何氣なくおしろいの實をつぶし見るかな
此夕何とはなしに人戀し星を眺むる胸のとゞろき

村礒泉の子

男とは瀞の眞中に投入れし折れ針にて甲斐なしと知る

近藤なほ子

つらき世を泣きて語りて戀人になぐさめられし日もありしかな
我泣きてことし五つの妹になぐさめられぬ故知らぬ子に

日暮靜子

藍いろにしづめる谷にしら／＼と樺の並木のたそがるゝいろ
青鷺のほのかに水をわたるにもゆる思ひのたえやらずとも
波よ／＼あまりにつらくうちよする淋しきまゝに早く疑ればや
晩秋の銀座のアカシヤのその上にほのかに月の匂ふ夕ぐれ

正親町ゆみ子

雛栗草おそ夏はものゝ悲しさを身にしみ／＼とおぼゆる夕
人思ふこゝろいつしかふかみゆく頃を泪夫藍のちりそめにけり
しら／＼と月かゞやける砂丘に礒草つめば千どりなくなり
さみしくも樺の若葉のしら／＼とそよぐを見れば泪ぐまるゝ

選者

鼠の目女どうしがつゝましく、たぶらかしあふ時の目に似て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

講演會の記

今年の秋ほど雨の多い秋はない、降る丈け降つてほんによい小春日和にしたいものだと祈つて居た十八日もまだ低氣壓が去り切らない、重たげな日でした、それでも降るの丈けはやつとふりやんで一安心させました此の日は青年會館で岩谷天狗の演説會に森律子も出ると云ふ事で、女優見たさの若い人はとてもコチラへは來まいと云ふ人もありました、けれども御婦人が六七十名と男子が百二三十名あまりの來會者で、終りまでには廣い南明倶樂部の樓上がふさがりました。未熟な自分が感想を述べてから吉川たみ子女史の、東京の虚榮の風習を改めたいと云ふ眞心より出る眞摯なる御話があり、次に高野先生のオリブシユライネルの婦人と戰爭を組織だてゝの御話や、向軍次先生は「廿世紀的婦人」と云ふ演題で力ある御話があり、終りに茅原先生の「理想の婦人」と云ふ演題で支那、朝鮮、亞米利加獨乙英國佛蘭西の婦人を目に見る樣に御話し下さいました、最後に小口みち子さんはあまり豫定より時間がおそくなりましたからと云つて閉會の辭を述べて會を閉ぢました、諸先生の御話が何れも非常に有益であつたのと、臨來の方々が一同熱心に御聽き下されし事を深くうれしく思ひました。閉會後會員數名は居殘つて樂しく雜談を致しました。(文)

投稿募集（毎月十日〆切）

■和歌（一人五首以內）　小口みち子選

■俳句（一人五句以內）　すみ子選

賞　△和歌、俳句一等五十錢、二等三十錢、三等本誌二册

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一册	（郵税壹錢）	拾錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意　●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正二年十月廿八日印刷納本
大正二年十一月一日發行

本郷區駒込林町二〇〇番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

印刷所　本所區番場町四番地　凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込林町二百番地　新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京二四五五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顏の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尚ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區竹川町一二

理容館

電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腦病精神病專門

東京・田端

東京腦病院

電話下谷二二〇二番

院長 後藤省吾

醫學士 黑澤良臣

腦病精神病專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

● 諸君の家庭には一日も不思議膏を缺きたまふべからず思はぬ時に思はぬ重寶となるべし

「フシギ膏」は實にこれ何の病にも「フシギ効」也一度用ゐた人は必ずその功能におどろく

醫學士堤宗卿先生卓効證明實用新案特許良劑

不思議膏

ながれずまくれず體裁よく何度でも用ゐられてどこでも痛む處へはればすぐにきく

効能

●れうまち●骨の痛●かたのこり●齒のいたみ●うちみ●神經痛●胃の痛●せんき●寸白●痔●そこまめ●すはりだこ●ひようそう●しやくり●ようてう●やけど●くつずれ●づつう●乳のこり●のぼせ●ろいれき●耳の痛み●其他いたむ處一切

定價

二枚入金五錢

四枚入金十錢

十二枚箱入金三十錢

● 本舗 東京市日本橋區若松町十七番地 具足堂

電話浪花四八六〇 振替東京一二三五

○賣捌當市各藥店 及全國各藥店

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月やく

月やくとまり御心配の御方又月やくの爲に御なんぎなさる御方は三錢切手封入御手紙下さいゝからだに害なくよく下りる良藥秘密に御知らせ致します

東京市小石川區大原町一六
栖原のぶ子

●タムシンは全國到る所の藥店にあり
●定價▲十錢▲二十錢▲大器五十錢

皮膚病一切の特効藥
タムシン
・たむし、いんきん、水むし等に尤も卓効あり

東京市京橋區入舟町四丁目
本舖 橋本進世堂

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地
ラヂウム專門療院
電話新橋參〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

不思議によくきくしもやけの妙藥
しもやけ根切藥

◎各藥店にあります
猿馬印に御注意あれ

本舖 東京上槇町 支那安東縣 安川晃榮堂

定價 廿錢 十錢 五錢

産婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號
電話芝八百六十四番

東京衛生團 產婆看護婦部

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地
產婆部大崎支局

趣味横溢家庭の

▲講談社編輯部編▲高畠華宵氏裝幀▼

小説

烈女侠妓

三六版
三百六十餘頁
總クロース
美裝函入
定價金七拾錢
郵送料金八錢

絶好讀み物◉大好評◉！

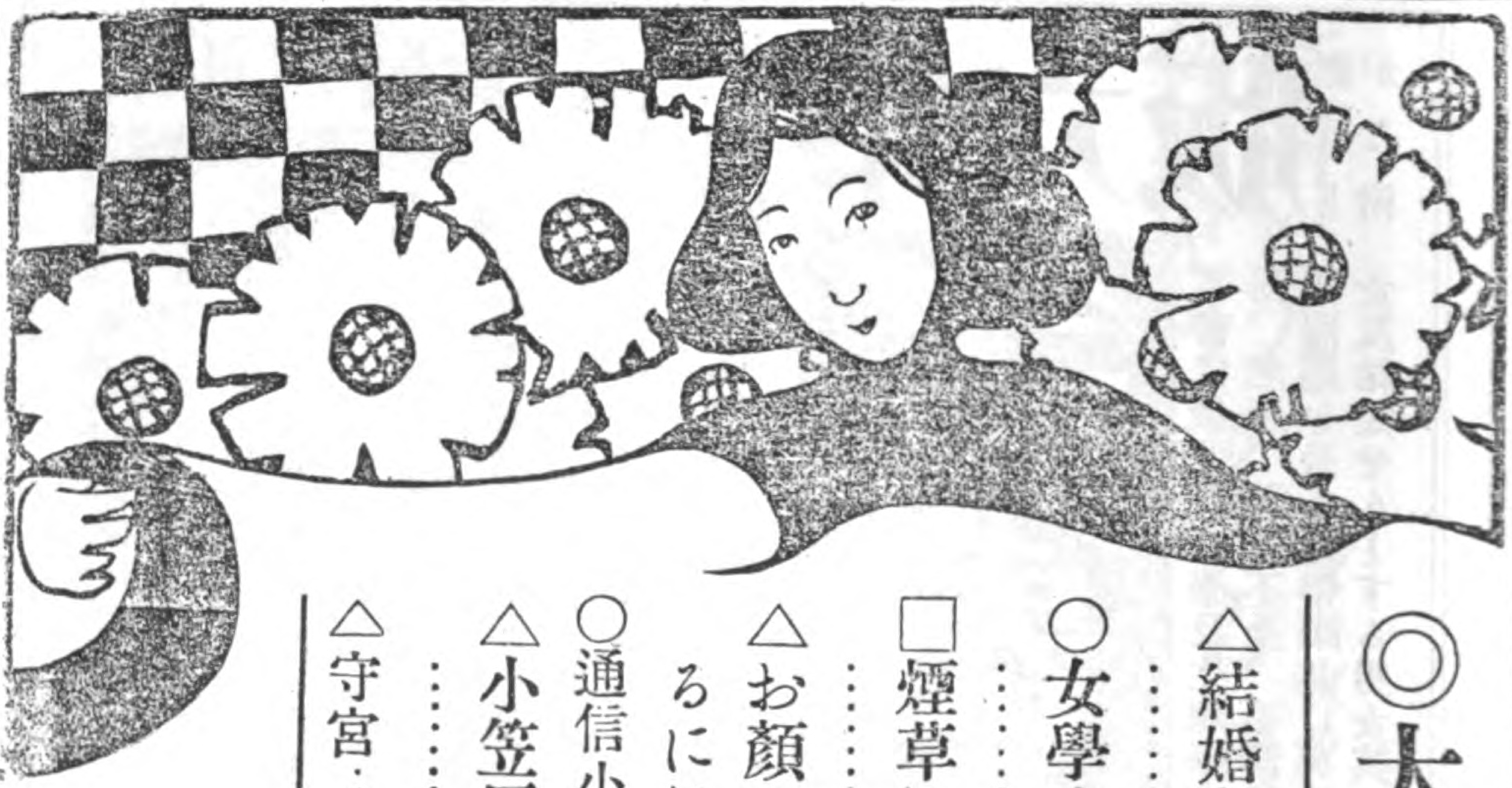
濃艶凄艶、女の中の女と天下に誇るべき美人の物語り、筆者は悉く熱血を灑ぎ、出版者は出來得る限りの勉强を試みたり、讀者は必ずや善哉善哉と呼び給ふべし

烈女勝野……青戸の浦人
侠妓梅香……渡邊默禪
お瀧姐さん……望月紫峯
奴の小萬……夢想兵衛
齋藤音代……猗竹園
瓢屋おうし……渡邊默禪

東京駒込團子坂
講談社
振替口座六六二九番

賣捌全國各書店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



◎大正婦女社會 十一月一日發行號目次

△結婚と精神病……吳醫學博士
○女學生と近眼……山口醫學博士
□煙草は美を損ふ……櫻林醫學士
△お顏をお洗ひなさるには……花房都子
○通信小話……安田麹町局長
△小笠原島奇談……阿部資滿
△守宮……佐々木理學博士
○印度支那の風俗……美代農學士
■近きより初めよ……山脇房子
△倫敦通信……山崎かつ子
農業道德 村上文學士
○森林の效用……本多林學博士
■獨逸の幽靈……木村酉子
○小說夢の松風……竹內蘆笛

定價
壹冊郵料共金拾錢
半年分六冊郵料共前金六拾錢
一年分十二冊郵料共前金壹圓
切手代用一割增

見本を要求あるも御送金無き向へは送本いたさず候

發行所 東京市麹町區下二番町七〇 大正婦女社 振替口座東京二〇五九九番

最新刊發賣

肘鉄砲（ヒジテツポー）

現代文豪の傑作中に表はれたる所謂新らしき肘鐵……新らしき男の肘鐵、新らしき女の肘鐵、少年及び老人の肘鐵、やもめ女の肘鐵等悉く收めて此の一卷にあり。甘き戀を夢むるもの。若き失戀に泣く者本書に來りて肘鐵の眞意義を會得せば自ら大悦徹底すべし……

洋布製箱入頗る美本紙數三百頁●全壹冊定價金七拾錢郵税八錢

第六版

生殖器の研究と其疾病療法

安蘇病院長 秋山金也先生
産科婦人科花柳病專門 吉岡三次郎先生
合著

實物寫眞六十個入紙數三百七十餘頁
定價金一圓二十錢●密封小包十二錢

總ふりがな附

本書は最近の醫學及生理學より最も嚴密に生殖器の構造機能、妊娠、避妊、早漏、遺精、過房、老衰、發育不全、手淫障害、花柳病豫防、花柳病療法其他男女生殖器に關するあらゆる諸問題を最も通俗平易に興味深く詳說したる者なれば子孫なき家庭は勿論花柳病になやむ男女及結婚せんとする男女其他萬人の必讀すべき良書也

發行所 東京神田錦町三ノ八 振替東京一七〇九一 島田書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

產科婦人科小兒科

鷲山改め 女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

醫學博士 北里柴三郎閱

醫學博士 柴山五郎作著

增訂 **最近之肺結核療法** 第十三版

紙數二百餘頁・正價金壹圓貳拾錢・密封郵稅八錢

肺結核は容易ならざる疾患なり然れ共初期に於て正當なる療法を加ふれば全く治癒す本書は此の正當なる療法を述べたるものにして特に第十三版に於ては『ツベルクリン』療法の勃興に伴ひ實地使用者の便に供せんが爲めに最も實地的懇切に書き改めたり醫家は本書によりて患者に示すべき方針を知り患者は本書に依て醫家命令の理由を會得し二者相俟つて治癒の彼岸に達するを得ん

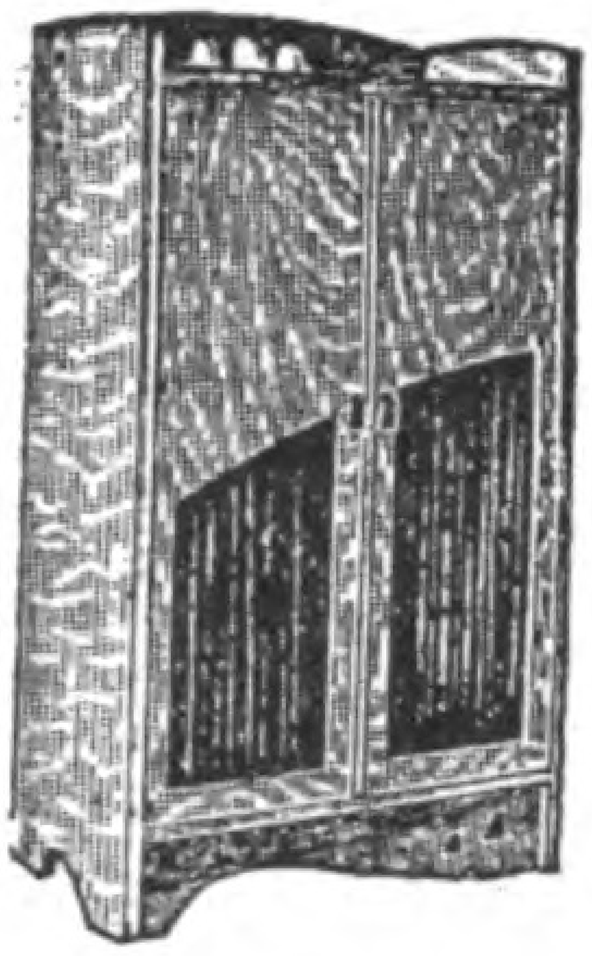
內容目次

◉衛生食餌療法○營養療法○食欲不振○牛乳療法○營養製品○肉類及蛋白質製品○脂肪製品○飽食療法○乳清及葡萄療法○空氣療法○強練法○運動及橫臥法○日光浴及空氣浴○呼吸操法○精神の使用○患者の日課○室內衛生○轉地療法○氣候療法○海濱療養所○航海○內地療養所○高山療養所○療養所の條件○醫の監督及病院療養○療養の時日○肺勞の衛生食餌的療法○衛生食餌的結核法の學說に對する試驗的追加○結核療法に於ける氣候及海上旅行○藥劑療法○特異療法○ツベルクリン數件○結核血清療法○理學的療法○外科的療法○對症療法○熱○盜汗○核嗽及咯痰○咯血及血痰○疼痛○呼吸困難○心臟衰弱○不眠症○消化障害○貧血○喉頭疾患○諸他の注意○比較的治癒に於ける注意

○**肺結核豫防療法** 醫學士 竹中成憲 價六十錢 郵稅六錢

○社會教育 **通俗肺結核療養法** 北里博士 柴山博士 六十五錢 郵稅四錢

發行所 東京神田鍛冶町 振替口座四七七二番 **誠之堂書店**



御婦人向文房具

文房具にも亦御婦人向あり　伊東屋の階上には御婦人向文房具が澤山陳列有之候　御高覧お待受申上候

御婦人向文房具のうちに樒材に白ラックを施し優雅清洒を極めたる机と本箱と本置臺などあり殊に御高覧お待受申上候

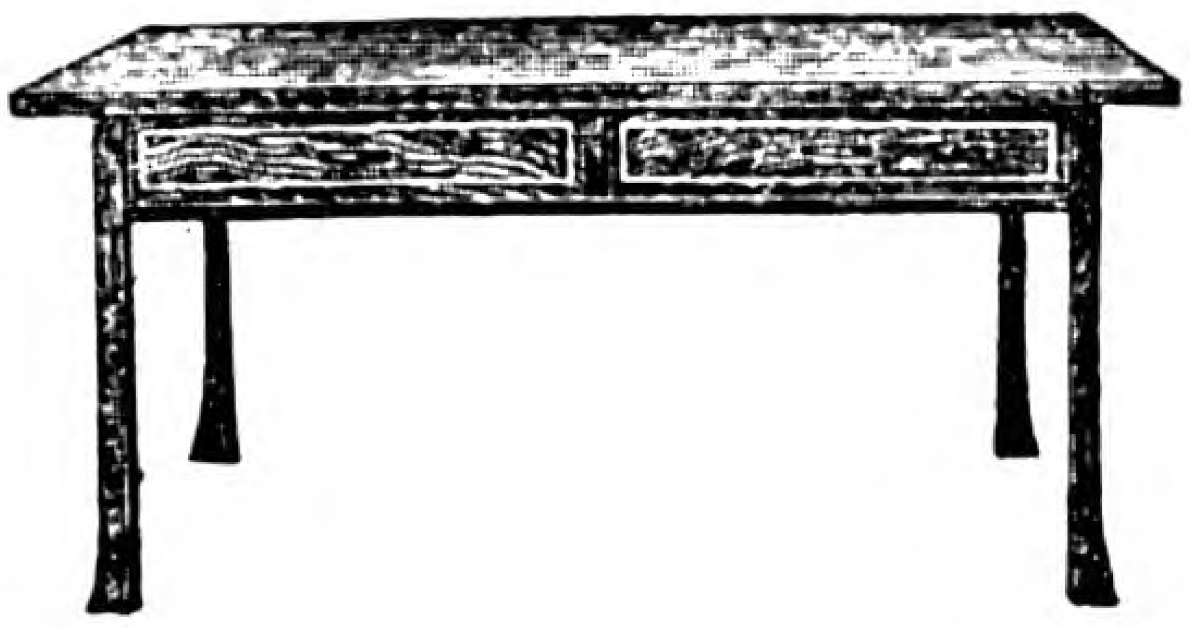
机	高一尺貳寸	間口貳尺四寸	奥行一尺三寸	金五圓也
本箱	高二尺六寸	間口一尺五寸	奥行九寸	金九圓五十錢
本置臺	高一尺三寸	間口一尺四寸	奥行八寸	金三圓五十錢

荷造費　机と本箱八十錢　本置臺三十錢

東京銀座

伊東屋

電話新橋 一三二九 一七九六
振替口座 五一一一



歐米新着
瓦斯ストーブ

新着瓦斯ストーブは歐米各國に於て瓦斯器具製造に最優絶の稱ある工場にて製作せられ洋館建日本建家屋何れにも適し特に日本趣味を有して其の體裁を單に實用に止まらず室内装飾品として頗る美觀を添ふるものなり大小種々陳列致居候間續々御來臨御買求願上候

定價四五圓より百圓内外迄

東京市神田區錦町三丁目

東京瓦斯株式會社

本社陳列所

電話本局 一三 自四〇五〇 至四〇五八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正二年十月二十八日印刷納本
大正二年十一月一日發行（毎月一回一日發行）

坊チャン嬢チャンの御召物

黒色上等綾繻子製

弊店發賣の授業服は男女兒童が家庭幼稚園小學校用として經濟體裁衛生とを具備する尤も完全なる理想的の上着にて着物の汚損に心を痛めず派手や質素の差別なく心持ち好く授業に就き愉快に運動が出來る且つ現代の要求に副ひたる大流行の服裝であります

教育大家各位に非常の御賞賛を得し授業服は

ハカマの代用を致します。衣服の汚損を防ぎます。黒色で體裁が高尚優美です。着脱が便利で身體が弛です。品質堅牢で廉價です。數回洗濯の後も變色の憂ひなし。和洋服共に用ひられます。

百聞は一見に不如御試見を願ひます

發賣紀念特價

一尺六寸	一圓六十錢
一尺八寸	一圓七十五錢
二尺一寸	一圓九十錢
二尺三寸	二圓十錢
二尺五寸	二圓三十錢

◉以上一寸毎に十錢増し

送料　一着 八錢　海外 卅錢　二着以上四錢増し

◉御注文の節は着丈寸法男女の別御書添へ願ひます

◉市内は電話はがき御報次第店員持參、地方は振替口座又は代金引替

東京各小學幼稚園御用發賣
自家裁縫發賣

東京市日本橋區三代町八　Ⓝ ヨシダ高等洋服店　振替口座東京九三三〇番　電話浪花四九五九番